
四日市市
高齢者介護に関する調査
(若年者調査)
報告書

令和8年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 圏域、年齢、性別	2
3. 調査結果	4
(1) ご本人の状況について	4
(2) 介護と就労について	5
① 働きながら介護した経験	5
② 勤務先の支援	9
③ 介護離職	13
(3) 介護保険のサービスについて	17
(4) 日常生活の不安について	21
(5) 日常生活の支援について	23
(6) 健康について	27
① がん検診	27
② 食生活や運動等	31
(7) 認知症対策について	36
(8) 在宅医療について	42
(9) これからの高齢者介護について	53

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行います。

本調査は、介護保険事業の円滑な実施と、高齢者の福祉全般にかかわるサービス提供を充実させるための基本資料とすることを目的として実施しました。

(2) 調査の実施について

対象	要支援・要介護認定を受けていない40～64歳の市民
実施期間	令和7年12月10日（水）～令和7年12月26日（金）
実施方法	郵送またはWEB調査

(3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
1,000件	567件	56.7%	557件	55.7%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている。
4. クロス集計表において、各項目（表側）における上位1位、上位2位に色付けをしている。

2. 回答者の属性

(1) 圏域、年齢、性別

単位：％

			圏域												単位：%
		母数 (n)	富 洲 原	富 田	羽 津	八 郷	下 野	大 矢 知	保 々	海 蔵	中 部	川 島	神 前	桜	
全体		556	2.3	3.8	6.3	5.4	3.8	6.8	2.2	3.8	8.8	3.8	1.6	4.7	
性別	男性	278	2.9	4.0	6.8	7.6	4.3	7.9	2.2	4.7	6.8	2.5	2.2	2.5	
	女性	278	1.8	3.6	5.8	3.2	3.2	5.8	2.2	2.9	10.8	5.0	1.1	6.8	
年齢	40～44歳	90	2.2	6.7	10.0	8.9	3.3	6.7	1.1	5.6	7.8	2.2	1.1	3.3	
	45～49歳	97	—	2.1	2.1	4.1	6.2	7.2	6.2	3.1	5.2	6.2	2.1	4.1	
	50～54歳	149	4.0	2.0	6.0	4.0	4.0	7.4	0.7	3.4	8.7	3.4	2.0	5.4	
	55～59歳	115	1.7	6.1	9.6	6.1	3.5	4.3	0.9	3.5	10.4	2.6	1.7	4.3	
	60～64歳	105	2.9	2.9	3.8	4.8	1.9	8.6	2.9	3.8	11.4	4.8	1.0	5.7	
性・年齢	男性 40～44歳	52	1.9	5.8	11.5	13.5	1.9	5.8	—	7.7	7.7	1.9	1.9	5.8	
	45～49歳	49	—	2.0	2.0	8.2	8.2	8.2	6.1	6.1	8.2	4.1	—	—	
	50～54歳	63	6.3	1.6	3.2	7.9	6.3	12.7	—	3.2	4.8	1.6	3.2	3.2	
	55～59歳	57	—	7.0	12.3	3.5	5.3	1.8	1.8	3.5	7.0	1.8	3.5	1.8	
	60～64歳	57	5.3	3.5	5.3	5.3	—	10.5	3.5	3.5	7.0	3.5	1.8	1.8	
	女性 40～44歳	38	2.6	7.9	7.9	2.6	5.3	7.9	2.6	2.6	7.9	2.6	—	—	
	45～49歳	48	—	2.1	2.1	—	4.2	6.3	6.3	—	2.1	8.3	4.2	8.3	
	50～54歳	86	2.3	2.3	8.1	1.2	2.3	3.5	1.2	3.5	11.6	4.7	1.2	7.0	
	55～59歳	58	3.4	5.2	6.9	8.6	1.7	6.9	—	3.4	13.8	3.4	—	6.9	
	60～64歳	48	—	2.1	2.1	4.2	4.2	6.3	2.1	4.2	16.7	6.3	—	10.4	
圏域	北ブロック	191	6.8	11.0	18.3	15.7	11.0	19.9	6.3	11.0	—	—	—	—	
	中ブロック	169	—	—	—	—	—	—	—	—	29.0	12.4	5.3	15.4	
	南ブロック	196	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
世帯類型	ひとり暮らし	53	3.8	1.9	11.3	1.9	1.9	3.8	—	9.4	5.7	3.8	1.9	3.8	
	夫婦のみの世帯	126	2.4	4.0	6.3	7.1	2.4	7.9	1.6	2.4	5.6	2.4	3.2	7.1	
	夫婦と子どもの核家族世帯	234	1.3	3.0	6.0	4.3	4.3	6.4	3.0	3.0	9.0	4.7	1.7	4.7	
	あなたとその他の65歳以上の家族のみの世帯	67	4.5	3.0	7.5	6.0	7.5	3.0	3.0	4.5	9.0	3.0	—	3.0	
	複数世帯同居（子どもの家族など同居）	26	—	3.8	—	3.8	3.8	19.2	—	7.7	19.2	3.8	—	—	
	その他	44	4.5	9.1	—	11.4	2.3	9.1	2.3	2.3	13.6	2.3	—	4.5	
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	38	7.9	5.3	5.3	2.6	2.6	10.5	—	—	7.9	5.3	—	—	
	以前、働きながら介護していたことがある	84	1.2	3.6	13.1	7.1	2.4	2.4	2.4	4.8	7.1	3.6	2.4	6.0	
	働きながら介護したことはない	425	2.1	3.8	5.2	5.2	4.0	7.5	2.4	4.0	9.2	3.5	1.6	4.7	
就労継続	問題なく、続けていける	18	5.6	—	27.8	—	5.6	—	5.6	—	16.7	11.1	—	—	
	問題はあるが、何とか続けていける	54	3.7	3.7	9.3	11.1	—	7.4	—	1.9	1.9	3.7	—	3.7	
	続けていくのは、やや＋かなり難しい	50	2.0	6.0	6.0	2.0	4.0	4.0	2.0	6.0	10.0	2.0	4.0	6.0	
勤務形態	フルタイムで働いている	328	2.7	3.0	5.8	5.2	4.9	5.8	3.0	2.4	9.5	3.7	1.8	5.2	
	パートタイムで働いている	142	2.8	5.6	7.7	4.2	2.1	7.0	—	4.9	8.5	2.8	0.7	4.2	
	働いていない	73	—	2.7	6.8	8.2	1.4	9.6	2.7	8.2	5.5	6.8	2.7	2.7	
介護離職・転職経験	ある	57	3.5	5.3	7.0	5.3	—	5.3	5.3	7.0	10.5	—	—	8.8	
	ない	481	2.3	3.7	6.0	5.4	4.2	7.3	1.7	3.5	8.3	4.2	1.9	4.4	

単位：％

		母数 (n)	圏域											
			三重	県	橋北	常磐	日永	四郷	内部	塩浜	小山田	河原田	水沢	楠
全体		556	7.4	2.3	1.8	8.6	6.1	5.6	5.0	1.3	1.3	1.6	1.8	4.0
性別	男性	278	6.1	2.2	2.5	8.3	7.2	6.1	4.7	0.7	1.8	1.8	1.4	2.9
	女性	278	8.6	2.5	1.1	9.0	5.0	5.0	5.4	1.8	0.7	1.4	2.2	5.0
年齢	40～44歳	90	4.4	3.3	3.3	8.9	4.4	2.2	4.4	1.1	1.1	2.2	1.1	4.4
	45～49歳	97	8.2	1.0	3.1	9.3	9.3	11.3	2.1	1.0	1.0	1.0	—	4.1
	50～54歳	149	8.7	3.4	1.3	7.4	7.4	4.0	6.7	—	—	1.3	2.7	6.0
	55～59歳	115	8.7	0.9	1.7	8.7	6.1	4.3	6.1	1.7	1.7	2.6	0.9	1.7
	60～64歳	105	5.7	2.9	—	9.5	2.9	6.7	4.8	2.9	2.9	1.0	3.8	2.9
性・年齢	男性 40～44歳	52	3.8	1.9	1.9	5.8	1.9	1.9	5.8	—	1.9	1.9	1.9	5.8
	45～49歳	49	8.2	—	4.1	6.1	12.2	12.2	—	—	2.0	2.0	—	—
	50～54歳	63	9.5	3.2	3.2	4.8	11.1	3.2	6.3	—	—	1.6	1.6	1.6
	55～59歳	57	7.0	1.8	3.5	10.5	8.8	3.5	5.3	1.8	1.8	1.8	1.8	3.5
	60～64歳	57	1.8	3.5	—	14.0	1.8	10.5	5.3	1.8	3.5	1.8	1.8	3.5
	女性 40～44歳	38	5.3	5.3	5.3	13.2	7.9	2.6	2.6	2.6	—	2.6	—	2.6
	45～49歳	48	8.3	2.1	2.1	12.5	6.3	10.4	4.2	2.1	—	—	—	8.3
	50～54歳	86	8.1	3.5	—	9.3	4.7	4.7	7.0	—	—	1.2	3.5	9.3
	55～59歳	58	10.3	—	—	6.9	3.4	5.2	6.9	1.7	1.7	3.4	—	—
	60～64歳	48	10.4	2.1	—	4.2	4.2	2.1	4.2	4.2	2.1	—	6.3	2.1
圏域	北ブロック	191	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	中ブロック	169	24.3	7.7	5.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	南ブロック	196	—	—	—	24.5	17.3	15.8	14.3	3.6	3.6	4.6	5.1	11.2
世帯類型	ひとり暮らし	53	5.7	7.5	3.8	7.5	7.5	—	5.7	1.9	1.9	3.8	—	5.7
	夫婦のみの世帯	126	11.9	2.4	1.6	11.1	4.8	4.8	4.8	0.8	0.8	0.8	1.6	2.4
	夫婦と子どもの核家族世帯	234	5.6	2.1	2.1	9.4	6.0	5.1	6.0	1.7	1.3	2.1	2.6	4.7
	あなたとその他の65歳以上の家族のみの世帯	67	6.0	—	1.5	10.4	10.4	7.5	4.5	1.5	1.5	—	3.0	—
	複数世帯同居（子どもの家族など同居）	26	—	—	—	—	3.8	15.4	7.7	—	3.8	—	—	7.7
	その他	44	11.4	2.3	—	2.3	4.5	9.1	—	—	—	2.3	—	6.8
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	38	10.5	—	5.3	5.3	—	7.9	5.3	2.6	2.6	2.6	2.6	7.9
	以前、働きながら介護していたことがある	84	4.8	3.6	2.4	10.7	1.2	6.0	3.6	1.2	1.2	1.2	1.2	7.1
	働きながら介護したことはない	425	7.8	1.9	1.4	8.7	7.8	5.4	5.4	1.2	0.9	1.6	1.9	2.8
就労継続	問題なく、続けていける	18	5.6	—	—	11.1	—	—	—	—	5.6	—	—	5.6
	問題はあるが、何とか続けていける	54	7.4	—	3.7	9.3	1.9	7.4	5.6	3.7	1.9	3.7	3.7	5.6
	続けていくのは、やや＋かなり難しい	50	6.0	6.0	4.0	8.0	—	8.0	4.0	—	—	—	—	10.0
勤務形態	フルタイムで働いている	328	7.9	3.7	1.8	7.6	6.1	5.2	4.9	1.5	1.5	1.2	2.4	3.0
	パートタイムで働いている	142	7.7	0.7	2.8	11.3	6.3	5.6	3.5	0.7	1.4	3.5	0.7	4.9
	働いていない	73	5.5	—	—	6.8	6.8	6.8	8.2	1.4	—	—	1.4	5.5
介護離職・転職経験	ある	57	7.0	3.5	3.5	7.0	3.5	3.5	3.5	1.8	—	—	1.8	7.0
	ない	481	7.3	2.3	1.7	8.9	6.4	5.6	5.2	1.2	1.2	1.9	1.7	3.7

3. 調査結果

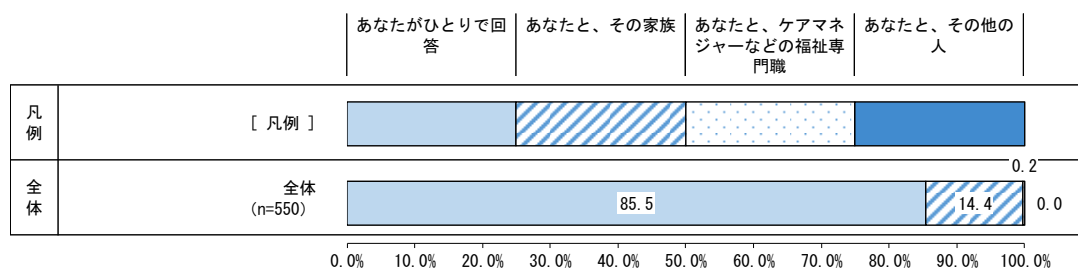
(1) ご本人の状況について

- 問1 (1) このアンケートに回答する人は、あなたとどのような続柄の人ですか。(○はひとつ)

【全体】

- 回答者の宛名本人との続柄について、「あなたがひとりで回答」が85.5%で最も多く、次いで「あなたと、その家族」が14.4%、「あなたと、ケアマネジャーなどの福祉専門職」が0.2%となっています。

【回答者の宛名本人との続柄】

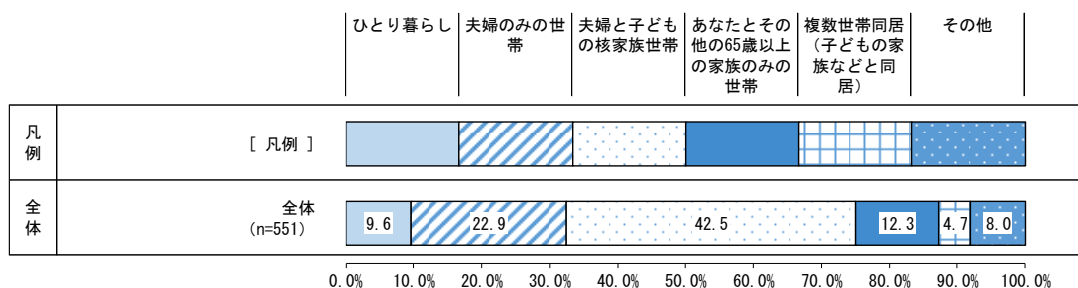


- 問1 (2) 令和7年12月1日現在の世帯の状況を教えてください。(○はひとつ)

【全体】

- 世帯類型について、「夫婦と子どもの核家族世帯」が42.5%で最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が22.9%、「あなたとその他の65歳以上の家族のみの世帯」が12.3%となっています。

【世帯類型】



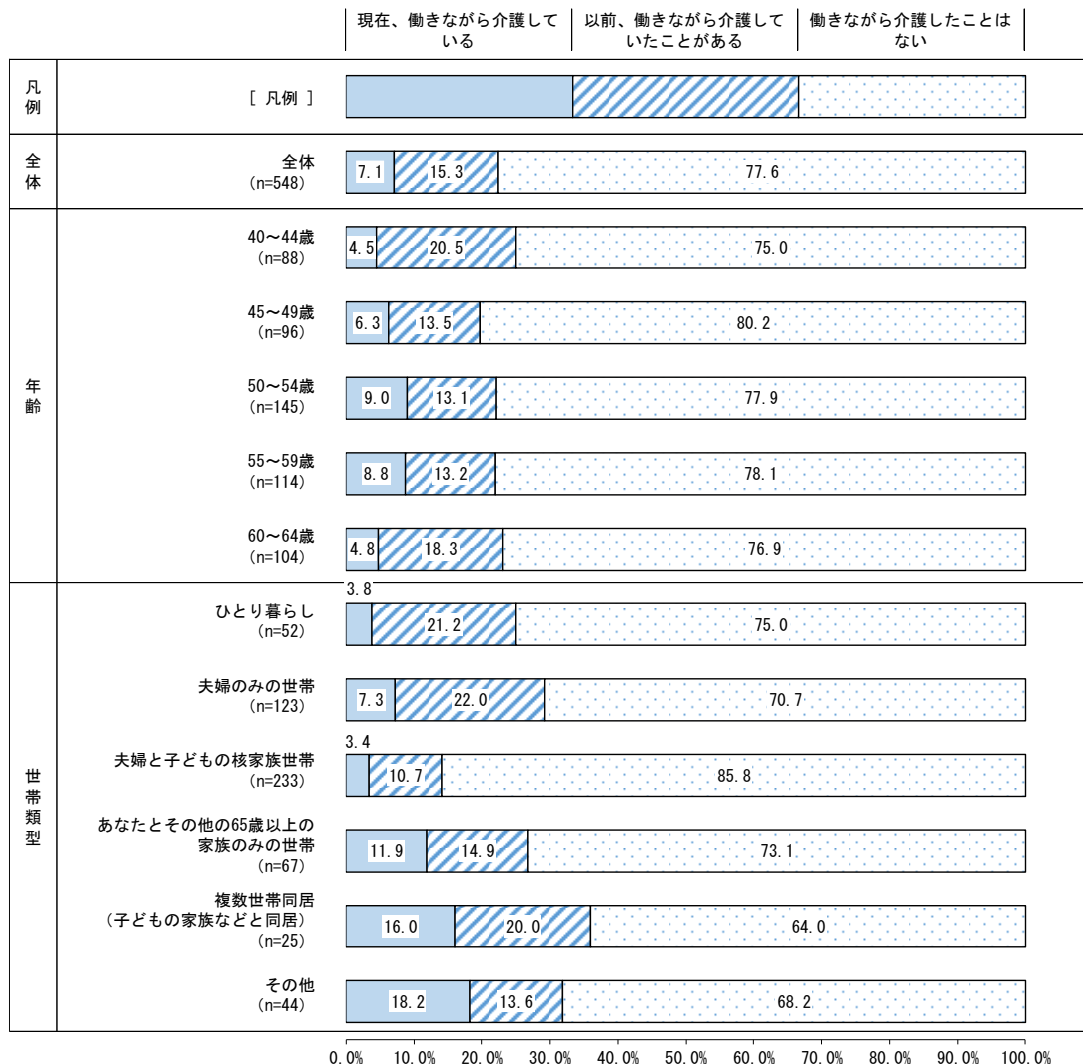
(2) 介護と就労について

① 働きながら介護した経験

- 問2 (1) これまでに、ご自分が働きながら、ご家族・ご親族のどなたかを介護されたことはありますか。(○はひとつ)

【全体】	
○	就労しながらの介護経験について、「働きながら介護したことはない」が 77.6%で最も多く、次いで「以前、働きながら介護していたことがある」が15.3%、「現在、働きながら介護している」が7.1%となっています。
【世帯類型】	
○	「現在、働きながら介護している」は複数世帯同居（子どもの家族などと同居）が16.0%、その他が18.2%と、他の区分が1割未満～1割程度であるのに対し多くなっています。
○	「以前、働きながら介護していたことがある」はひとり暮らしが21.2%、夫婦のみの世帯が22.0%、複数世帯同居（子どもの家族などと同居）が20.0%と、他の区分が1割程度であるのに対し多くなっています。

【就労しながらの介護経験】



- 問2 (1) - ① [問2 (1) で「1. 現在、働きながら介護している」「2. 以前、働きながら介護していたことがある」を選んだ人のみ] 主に介護している (いた) のはどなたですか。(○はひとつ)

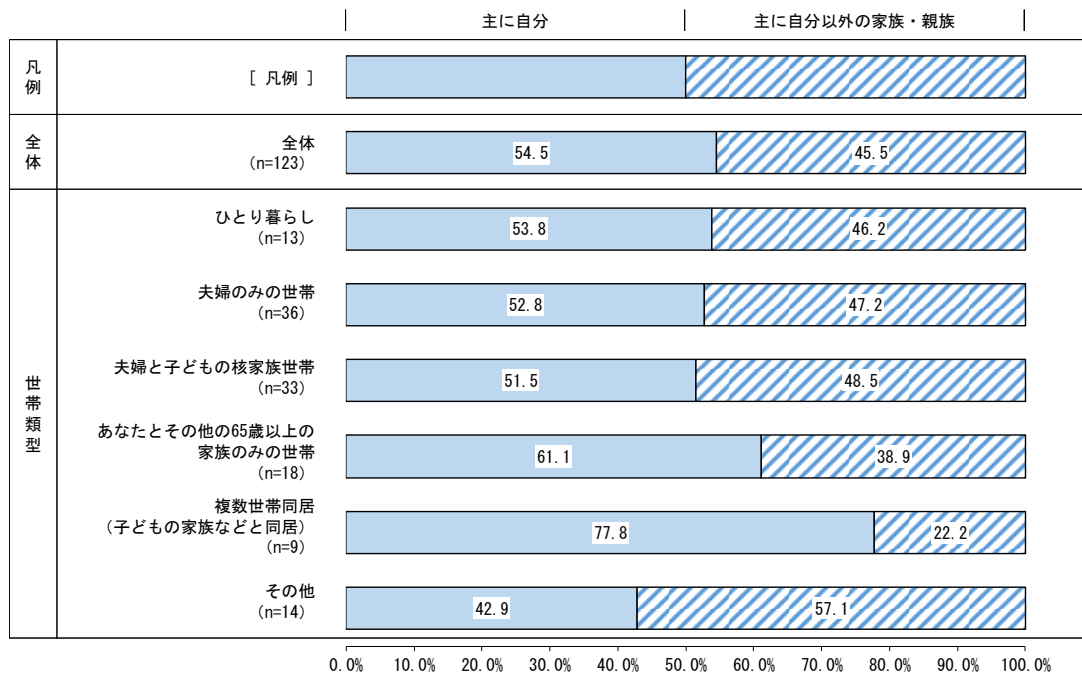
【全体】

- その時の主な介護者について、「主に自分」が 54.5%、「主に自分以外の家族・親族」が 45.5%となっています。

【世帯類型】

- 「主に自分」は複数世帯同居 (子どもの家族などと同居) が 77.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【その時の主な介護者】



- 問2 (1) - ② [問2 (1) で「1. 現在、働きながら介護している」「2. 以前、働きながら介護していたことがある」を選んだ人のみ] 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（しましたか）。（当てはまるものすべてに○）

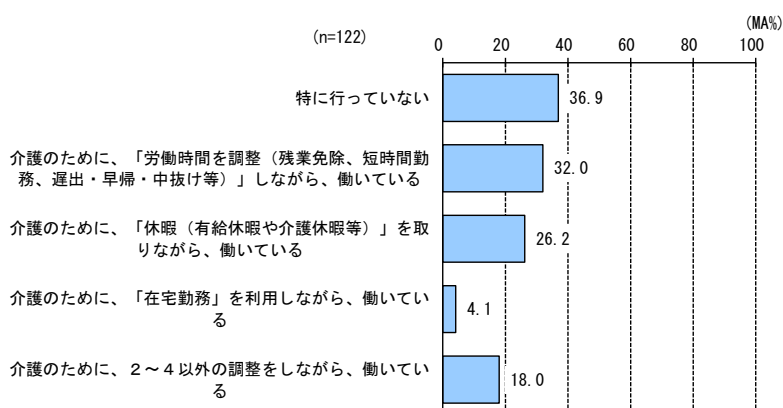
【全体】

- 働き方の調整について、「特に行っていない」が 36.9%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 32.0%、「介護のために、「休暇（有給休暇や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 26.2%となっています。

【勤務形態】

- フルタイムで働いている人では、「特に行っていない」が 49.3%で最も多く、パートタイムで働いている人に比べて多くなっています。
- パートタイムで働いている人では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 43.6%で最も多く、次いで「介護のために、2～4 以外の調整をしながら、働いている」が 30.8%となっており、いずれもフルタイムで働いている人に比べて多くなっています。

【働き方の調整 (MA)】



単位：％

		母数 (n)	働き方の調整(MA)				
			特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（有給休暇や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
全体		122	36.9	32.0	26.2	4.1	18.0
年齢	40～44歳	22	59.1	13.6	13.6	—	13.6
	45～49歳	19	31.6	31.6	15.8	5.3	31.6
	50～54歳	31	45.2	25.8	22.6	—	16.1
	55～59歳	25	32.0	36.0	28.0	8.0	20.0
	60～64歳	24	16.7	50.0	50.0	8.3	12.5
圏域	北ブロック	44	45.5	31.8	20.5	4.5	18.2
	中ブロック	36	27.8	27.8	30.6	2.8	25.0
	南ブロック	41	36.6	34.1	29.3	4.9	12.2
勤務形態	フルタイムで働いている	67	49.3	25.4	25.4	6.0	10.4
	パートタイムで働いている	39	10.3	43.6	28.2	2.6	30.8
	働いていない	13	61.5	30.8	23.1	—	15.4

- 問2 (1) - ③ [問2 (1) で「1. 現在、働きながら介護している」「2. 以前、働きながら介護していたことがある」を選んだ人のみ] 働きながら介護を続けていけそうですか（続けられましたか）。（○はひとつ）

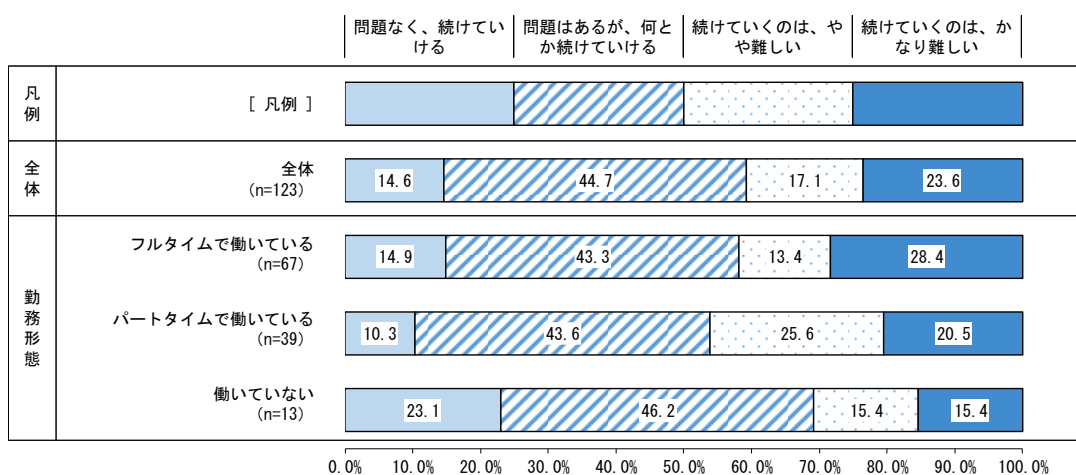
【全体】

- 今後の仕事と介護の両立について、「問題はあるが、何とか続けていける」が44.7%で最も多く、次いで「続けていくのは、かなり難しい」が23.6%、「続けていくのは、やや難しい」が17.1%となっています。

【勤務形態】

- 「続けていくのは、やや難しい」はパートタイムで働いている人が25.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「続けていくのは、かなり難しい」はフルタイムで働いている人が28.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【今後の仕事と介護の両立】

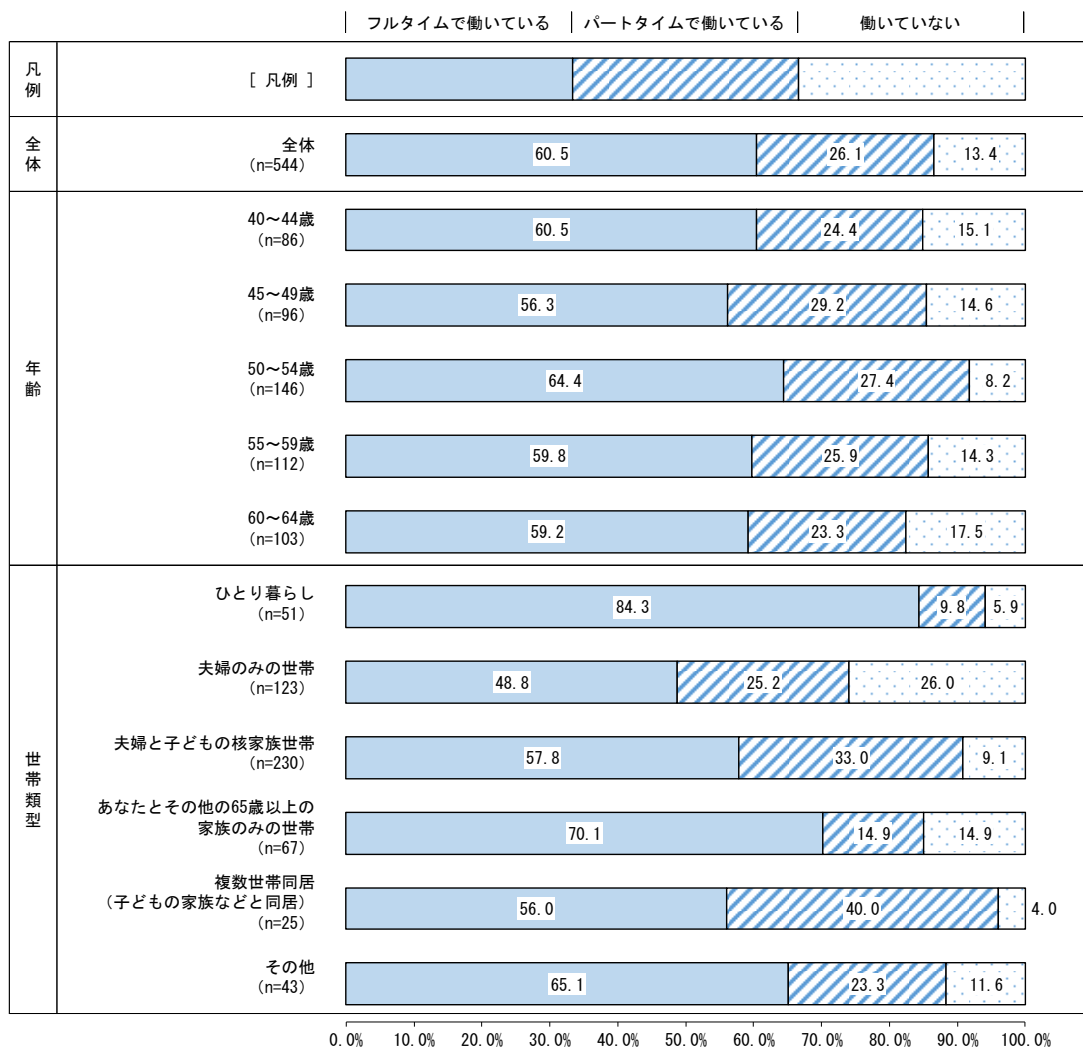


② 勤務先の支援

●問2 (2) 現在の勤務形態について、ご回答ください。(○はひとつ)

【全体】	
○	現在の勤務形態について、「フルタイムで働いている」が60.5%で最も多く、次いで「パートタイムで働いている」が26.1%、「働いていない」が13.4%となっています。
【年齢】	
○	「働いていない」は50～54歳が8.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
【世帯類型】	
○	「フルタイムで働いている」はひとり暮らしが84.3%と他の区分に比べて多くなっています。
○	「働いていない」は夫婦のみの世帯が26.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【現在の勤務形態】



- 問2 (2) - ① [問2 (2) で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」を選んだ人のみ] 勤め先には、次のような制度がありますか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 勤め先にある支援制度について、「制度については知らない」が38.2%で最も多く、次いで「介護休暇制度」が30.5%、「短時間勤務制度」が23.3%となっています。

【圏域】

- 「制度については知らない」は中ブロックが40.3%と他の圏域に比べて多くなっています。

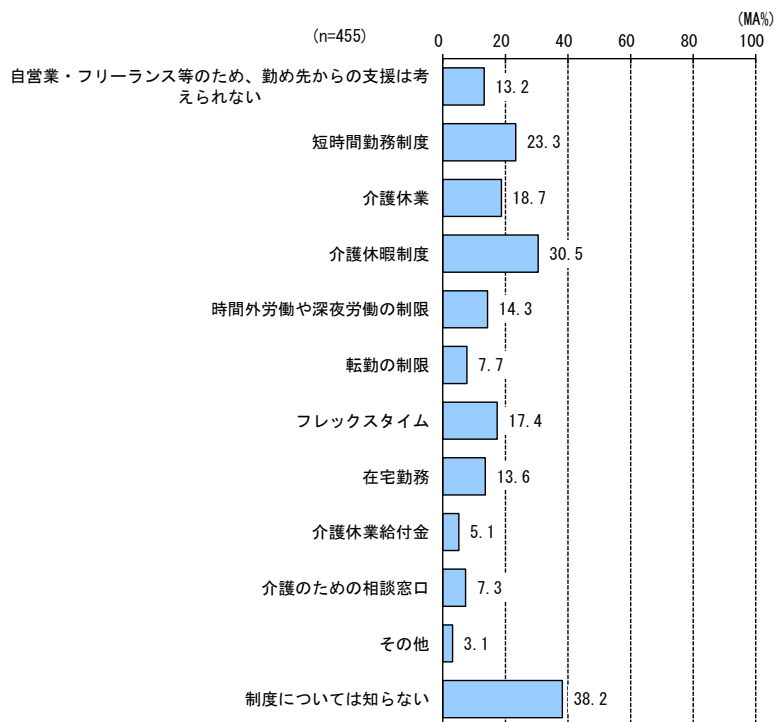
【就労しながらの介護経験】

- 現在、働きながら介護している人では、「介護休暇制度」が37.1%で最も多く、次いで「短時間勤務制度」「制度については知らない」が22.9%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先からの支援は考えられない」「介護休業」が20.0%となっています。
- 以前、働きながら介護していたことがある人では、「制度については知らない」が35.8%で最も多く、次いで「介護休暇制度」が25.4%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先からの支援は考えられない」「短時間勤務制度」が17.9%となっています。
- 「制度については知らない」は現在、働きながら介護している人が22.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【就労継続】

- 「自営業・フリーランス等のため、勤め先からの支援は考えられない」「転勤の制限」「フレックスタイム」「介護のための相談窓口」は問題なく、続けていける人が他の区分に比べて多くなっています。
- 「制度については知らない」は続けていくのは、やや+かなり難しい人が37.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【勤め先にある支援制度 (MA)】



単位：％

		母数 (n)	勤め先にある支援制度(MA)					
			セルフヘルプ・プログラム の活用	短時間勤務制度	介護休業	介護休暇制度	労働時間の制限や深夜	転勤の制限
全体		455	13.2	23.3	18.7	30.5	14.3	7.7
圏域	北ブロック	152	13.8	24.3	15.8	29.6	9.2	5.3
	中ブロック	144	9.0	25.7	18.8	31.3	19.4	7.6
	南ブロック	158	16.5	20.3	21.5	30.4	14.6	10.1
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	35	20.0	22.9	20.0	37.1	14.3	11.4
	以前、働きながら介護していたことがある	67	17.9	17.9	16.4	25.4	6.0	4.5
	働きながら介護したことはない	348	11.8	24.1	19.3	30.5	15.8	8.0
就労継続	問題なく、続けていける	14	28.6	21.4	14.3	28.6	14.3	14.3
	問題はあるが、何とか続けていける	43	18.6	20.9	16.3	37.2	4.7	7.0
	続けていくのは、やや＋かなり難しい	45	15.6	17.8	20.0	22.2	11.1	4.4

単位：％

		母数 (n)	勤め先にある支援制度(MA)					
			フレックスタイム	在宅勤務	介護休業給付金	窓口介護のための相談	その他	制限について
全体		455	17.4	13.6	5.1	7.3	3.1	38.2
圏域	北ブロック	152	19.1	17.1	3.9	5.3	2.0	37.5
	中ブロック	144	16.0	13.2	6.9	9.7	6.3	40.3
	南ブロック	158	17.1	10.8	4.4	7.0	1.3	37.3
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	35	14.3	11.4	2.9	17.1	2.9	22.9
	以前、働きながら介護していたことがある	67	7.5	6.0	4.5	3.0	4.5	35.8
	働きながら介護したことはない	348	19.5	15.2	5.5	7.2	2.9	40.5
就労継続	問題なく、続けていける	14	21.4	21.4	7.1	21.4	—	28.6
	問題はあるが、何とか続けていける	43	11.6	11.6	—	7.0	2.3	25.6
	続けていくのは、やや＋かなり難しい	45	4.4	—	6.7	4.4	6.7	37.8

- 問2 (2) - ② [問2 (2) で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」を選んだ人のみ] 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

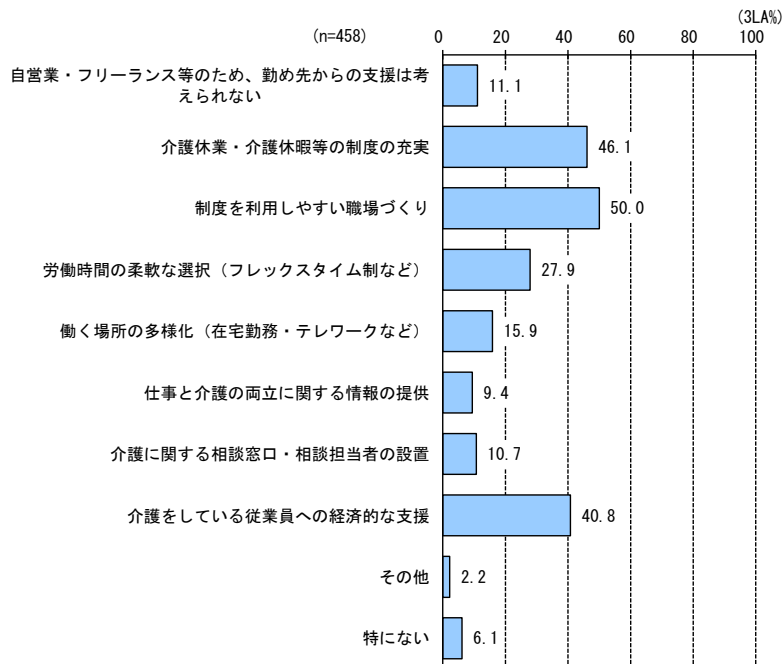
【全体】

- 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援について、「制度を利用しやすい職場づくり」が 50.0%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 46.1%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が 40.8%となっています。

【就労しながらの介護経験】

- 「仕事と介護の両立に関する情報の提供」「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」は、現在、働きながら介護している人が他の区分に比べて多くなっています。

【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援(3LA)】



単位：％

		母数 (n)	仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援(3LA)										その他	特 に ない
			考 え ら れ な い	自 営 業 ・ フ リ ー ラ ン ス 等 の た め の 支 援 は 勤 め 先 か ら の 支 援 は 考 え ら れ な い	介 護 休 業 ・ 介 護 休 暇 等 の 制 度 の 充 実	制 度 を 利 用 し や す い	選 択 制 の 充 実	労働 時間 の 柔軟 な 選 択 (フレ ック ス タイ ム 制 等)	働く 場所 の 多 様 化 (在宅 勤務 ・ テレ ワーク 等)	仕事 と 介 護 の 両 立 に 関 する 情 報 の 提 供	介護 に 関 する 相 談 窓 口 ・ 相 談 担 当 者 の 設 置	介護 を し て い る 従 業 員 へ の 経 済 的 な 支 援		
全体		458	11.1	46.1	50.0	27.9	15.9	9.4	10.7	40.8	2.2	6.1		
年齢	40～44歳	71	15.5	38.0	47.9	25.4	11.3	7.0	11.3	36.6	-	7.0		
	45～49歳	81	9.9	38.3	63.0	27.2	18.5	9.9	6.2	35.8	4.9	7.4		
	50～54歳	128	14.1	47.7	39.8	24.2	17.2	9.4	9.4	40.6	2.3	7.8		
	55～59歳	94	8.5	50.0	51.1	34.0	19.1	5.3	16.0	45.7	2.1	5.3		
	60～64歳	83	7.2	53.0	53.0	30.1	12.0	15.7	10.8	43.4	1.2	2.4		
圏域	北ブロック	152	11.2	46.7	53.3	28.9	20.4	9.9	13.2	40.1	2.0	3.9		
	中ブロック	144	8.3	43.1	48.6	28.5	14.6	11.8	8.3	45.8	2.1	7.6		
	南ブロック	161	13.7	47.8	47.8	26.7	13.0	6.8	10.6	36.6	2.5	6.8		
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	33	18.2	39.4	45.5	18.2	15.2	18.2	21.2	33.3	-	6.1		
	以前、働きながら介護していたことがある	70	14.3	35.7	51.4	31.4	15.7	10.0	12.9	28.6	5.7	5.7		
	働きながら介護したことはない	351	10.0	48.4	49.9	28.2	16.0	8.3	9.4	43.9	1.7	6.3		

③ 介護離職

- 問2 (3) ご家族やご親族の中で、介護を主な理由として仕事を辞めたことのある方はいますか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 介護離職についてについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が89.4%で最も多く、次いで「自分以外の家族・親族が仕事を辞めたことがある（転職除く）」が6.1%、「自分が仕事を辞めたことがある（転職除く）」が3.2%となっています。

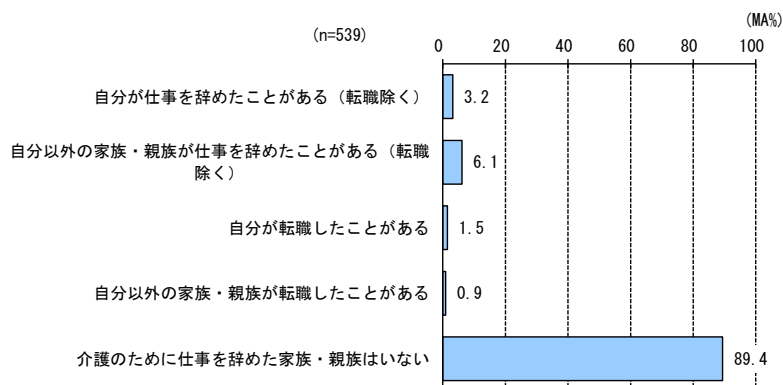
【就労しながらの介護経験】

- 現在、働きながら介護している人では、「自分が仕事を辞めたことがある（転職除く）」「自分が転職したことがある」が7.9%となっています。
- 以前、働きながら介護していたことがある人では、「自分が仕事を辞めたことがある（転職除く）」が12.5%となっています。

【勤務形態】

- 「自分が仕事を辞めたことがある（転職除く）」は働いていない人が9.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護離職について(MA)】



単位：％

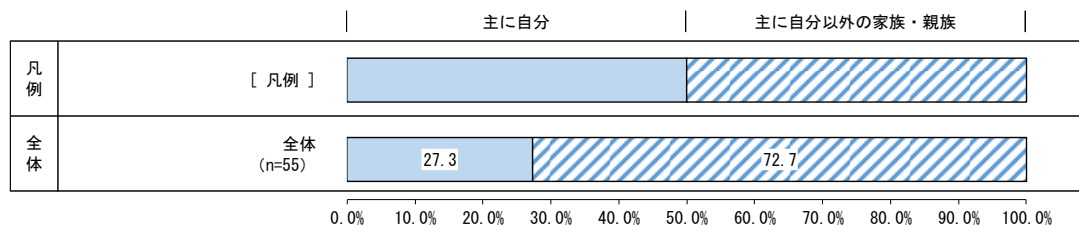
			介護離職について(MA)					
			職 除 く	自 分 が 仕 事 を 辞 め た こ と が あ る	職 除 く	自 分 が 仕 事 を 辞 め た こ と が あ る	職 除 く	自 分 が 仕 事 を 辞 め た こ と が あ る
			母 数 (n)	3.2	6.1	1.5	0.9	89.4
全体			539	3.2	6.1	1.5	0.9	89.4
圏域	北ブロック		186	5.4	5.9	1.1	0.5	88.2
	中ブロック		163	2.5	6.1	2.5	1.8	88.3
	南ブロック		189	1.6	6.3	1.1	0.5	91.5
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している		38	7.9	2.6	7.9	2.6	81.6
	以前、働きながら介護していたことがある		80	12.5	10.0	3.8	2.5	76.3
	働きながら介護したことはない		415	0.7	5.8	0.5	0.5	92.8
勤務形態	フルタイムで働いている		321	1.2	5.9	0.6	0.6	91.9
	パートタイムで働いている		139	4.3	9.4	4.3	1.4	84.2
	働いていない		72	9.7	-	-	1.4	88.9

- 問2 (3) - ① [問2 (3) で「1.」「2.」「3.」「4.」を選んだ人のみ] その時、主に介護していたのはどなたですか。(○はひとつ)

【全体】

- 介護離職があった時の主な介護者について、「主に自分」が 27.3%、「主に自分以外の家族・親族」が 72.7%となっています。

【介護離職があった時の主な介護者】

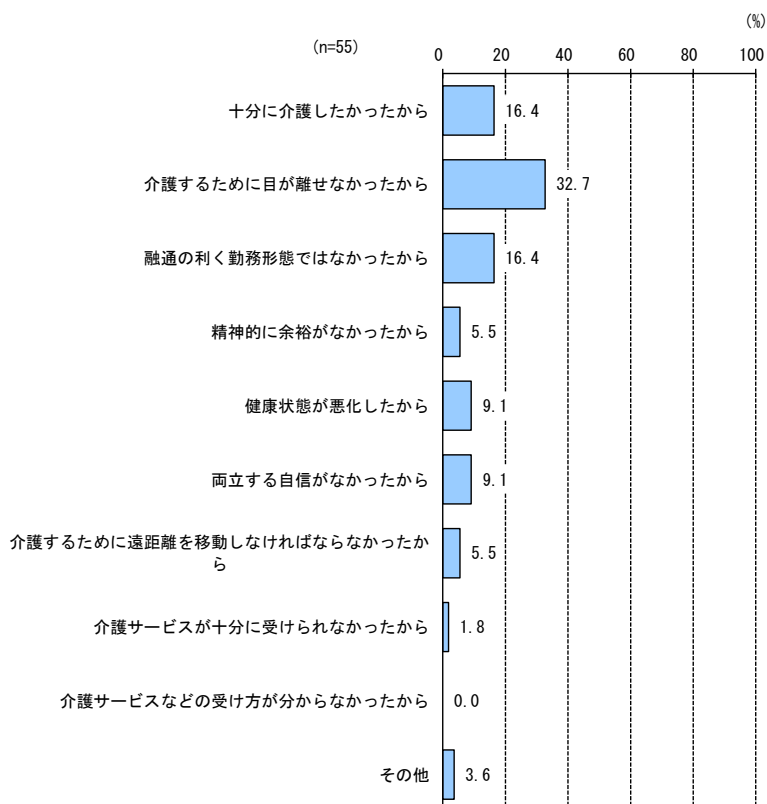


- 問2 (3) - ② [問2 (3) で「1.」「2.」「3.」「4.」を選んだ人のみ] 仕事を辞めたり、転職したりしなければならなかった最も大きな理由は何ですか。(○はひとつ)

【全体】

- 介護離職の理由について、「介護するために目が離せなかったから」が 32.7%で最も多く、次いで「十分に介護したかったから」「融通の利く勤務形態ではなかったから」が 16.4%、「健康状態が悪化したから」「両立する自信がなかったから」が 9.1%となっています。

【介護離職の理由】

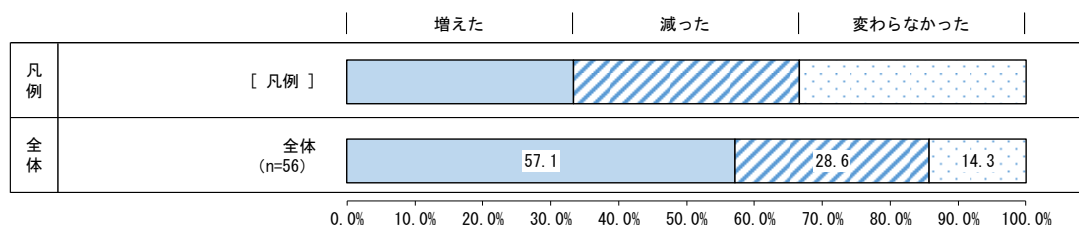


- 問2 (3) - ③ [問2 (3) で「1.」「2.」「3.」「4.」を選んだ人のみ] 仕事を辞めたり、転職したりしたことで、経済的な負担は変化しましたか。(○はひとつ)

【全体】

- 経済的な負担の変化について、「増えた」が 57.1%で最も多く、次いで「減った」が 28.6%、「変わらなかった」が 14.3%となっています。

【経済的な負担の変化】

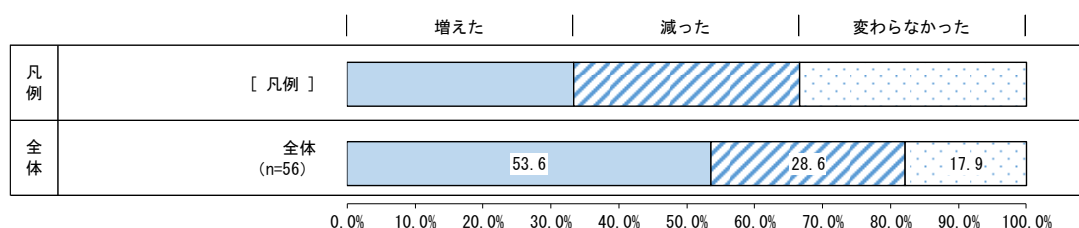


- 問2 (3) - ④ [問2 (3) で「1.」「2.」「3.」「4.」を選んだ人のみ] 仕事を辞めたり、転職したりしたことで、精神的な負担は変化しましたか。(○はひとつ)

【全体】

- 精神的な負担の変化について、「増えた」が 53.6%で最も多く、次いで「減った」が 28.6%、「変わらなかった」が 17.9%となっています。

【精神的な負担の変化】

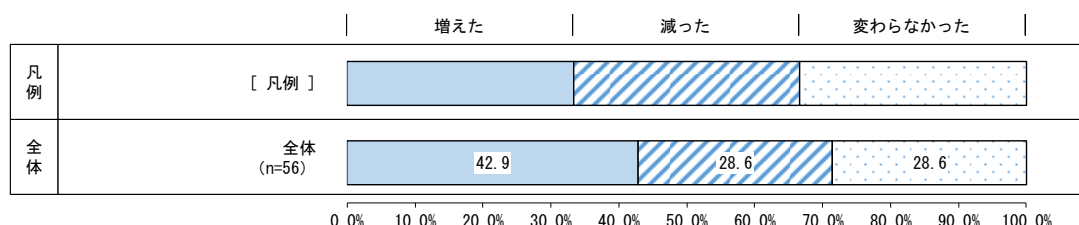


- 問2 (3) - ⑤ [問2 (3) で「1.」「2.」「3.」「4.」を選んだ人のみ] 仕事を辞めたり、転職したりしたことで、肉体的な負担は変化しましたか。(○はひとつ)

【全体】

- 肉体的な負担の変化について、「増えた」が 42.9%で最も多く、次いで「減った」「変わらなかった」が 28.6%となっています。

【肉体的な負担の変化】

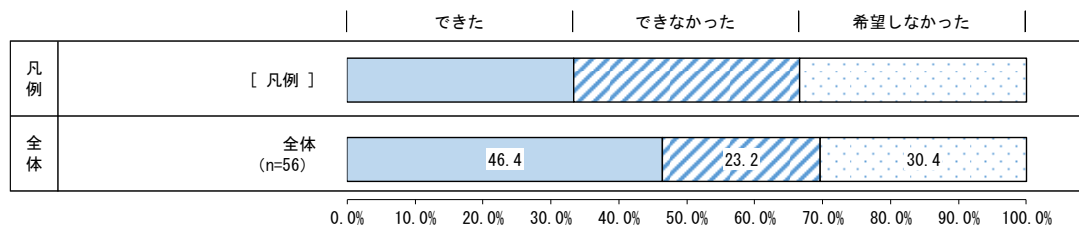


- 問2 (3) - ⑥ [問2 (3) で「1.」「2.」「3.」「4.」を選んだ人のみ] 再就職したり、復職したりすることはできましたか。(○はひとつ)

【全体】

- 再就職や復職についてについて、「できた」が 46.4%で最も多く、次いで「希望しなかった」が 30.4%、「できなかった」が 23.2%となっています。

【再就職や復職について】

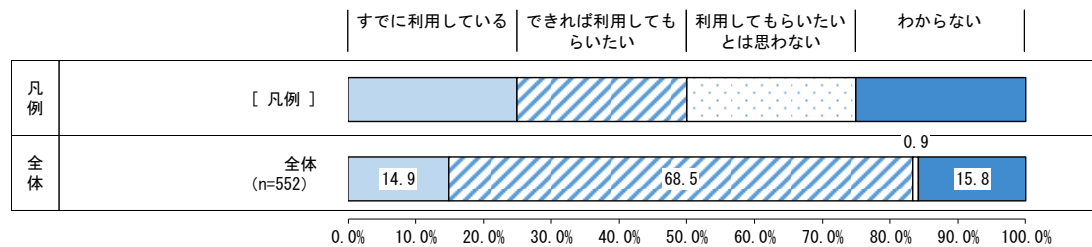


(3) 介護保険のサービスについて

●問3 (1) あなたは、ご家族に介護が必要になった場合、介護保険のサービスを受けてもらいたいと思いますか。(○はひとつ)

【全体】
○ 介護保険サービスの利用希望について、「できれば利用してもらいたい」が68.5%で最も多く、次いで「わからない」が15.8%、「すでに利用している」が14.9%となっています。

【介護保険サービスの利用希望】



- 問3 (1) - ① [問3 (1) で「1. すでに利用している」または「2. できれば利用してもらいたい」を選んだ人のみ] 介護保険制度を活用して、主にどのようなサービスを利用していますか、あるいは利用してもらいたいですか。(○はひとつ)

【全体】

- 介護保険サービスの利用状況について、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けている（受けてもらいたい）」が51.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所している（入所してもらいたい）」が40.9%、「わからない」が8.1%となっています。

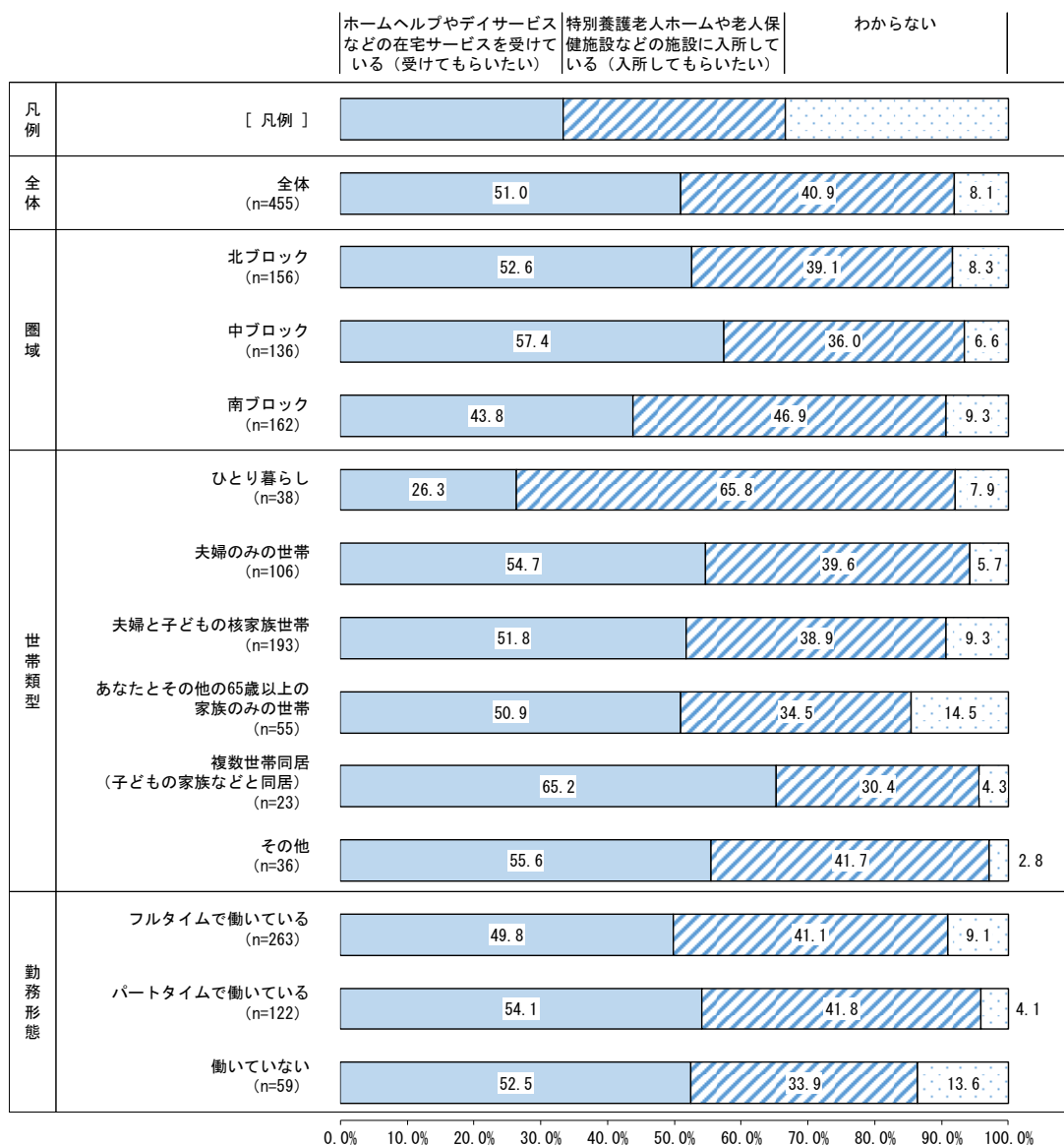
【圏域】

- 「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けている（受けてもらいたい）」は北ブロック、中ブロックがそれぞれ52.6%、57.4%と南ブロックに比べて多くなっています。
- 「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所している（入所してもらいたい）」は南ブロックが46.9%と他の圏域に比べて多くなっています。

【世帯類型】

- 「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所している（入所してもらいたい）」はひとり暮らしが65.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護保険サービスの利用状況】



- 問3 (1) - ② [問3 (1) で「3. 利用してもらいたいとは思わない」または「4. わからない」を選んだ人のみ] その理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

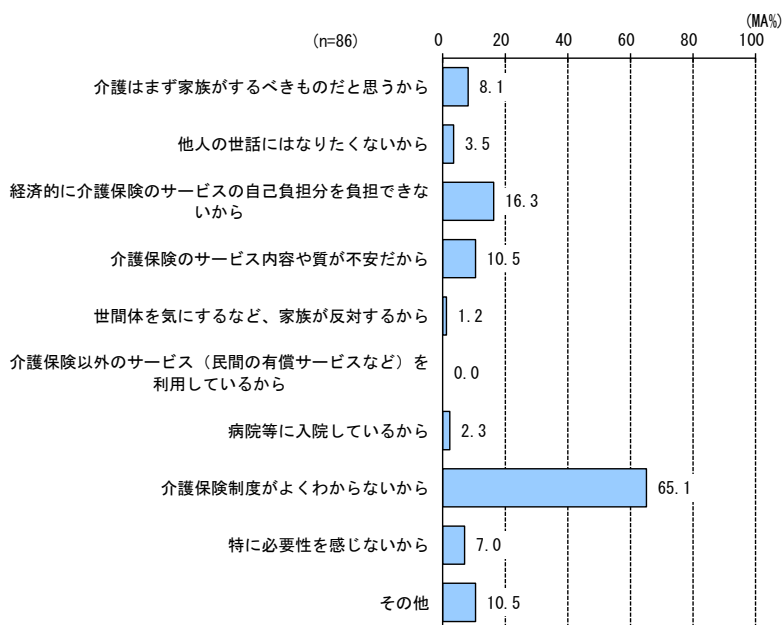
【全体】

- 利用してもらいたくない（またはわからない）理由について、「介護保険制度がよくわからないから」が 65.1%で最も多く、次いで「経済的に介護保険のサービスの自己負担分を負担できないから」が 16.3%、「介護保険のサービス内容や質が不安だから」「その他」が 10.5%となっています。

【年齢】

- 「介護はまず家族がすべきものだと思うから」は 45～49 歳が 15.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 年齢が高いほど「経済的に介護保険のサービスの自己負担分を負担できないから」が少なくなる傾向がみられます。
- 「介護保険のサービス内容や質が不安だから」は 40～44 歳が 20.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「介護保険制度がよくわからないから」は 55～59 歳が 83.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「特に必要性を感じないから」は 45～49 歳が 15.4%、60～64 歳が 13.3%と、他の区分が 1 割未満であるのに対し多くなっています。

【利用してもらいたくない（またはわからない）理由(MA)】



単位：%

		母数 (n)	利用してもらいたくない（またはわからない）理由(MA)										単位：%
			から 介護は すべき ものだ と思う	他人の 世話に はなり たくない から	経済的 に介護 保険の 自己負 担でき ないか	介護保 険のサ ービス 内容や 質が不 安だか	世間体 を気に するな ど、家 族が反 対する	介護保 険以外 の有償 サービス などを 利用し ている から	介護保 険に入 院して いるか ら	介護保 険制度 がよく わから ないか ら	特に必 要性を 感じな いから	その他	
全体		86	8.1	3.5	16.3	10.5	1.2	-	2.3	65.1	7.0	10.5	
性別	男性	40	2.5	2.5	20.0	15.0	2.5	-	5.0	65.0	5.0	10.0	
	女性	46	13.0	4.3	13.0	6.5	-	-	-	65.2	8.7	10.9	
年齢	40～44歳	15	-	-	33.3	20.0	-	-	-	66.7	-	26.7	
	45～49歳	13	15.4	15.4	23.1	15.4	-	-	-	46.2	15.4	7.7	
	50～54歳	25	12.0	4.0	16.0	-	4.0	-	4.0	64.0	4.0	12.0	
	55～59歳	18	-	-	11.1	11.1	-	-	-	83.3	5.6	5.6	
	60～64歳	15	13.3	-	-	13.3	-	-	6.7	60.0	13.3	-	
圏域	北ブロック	28	10.7	-	10.7	10.7	-	-	3.6	67.9	7.1	7.1	
	中ブロック	30	6.7	3.3	13.3	6.7	3.3	-	3.3	60.0	6.7	16.7	
	南ブロック	28	7.1	7.1	25.0	14.3	-	-	-	67.9	7.1	7.1	
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	4	-	-	25.0	50.0	-	-	-	50.0	25.0	-	
	以前、働きながら介護していたことがある	7	14.3	-	-	14.3	-	-	-	14.3	28.6	42.9	
	働きながら介護したことはない	73	6.8	4.1	17.8	8.2	1.4	-	2.7	71.2	4.1	8.2	

●問3 (2) 介護サービスと介護保険料とのバランスについてどう思いますか。(○はひとつ)

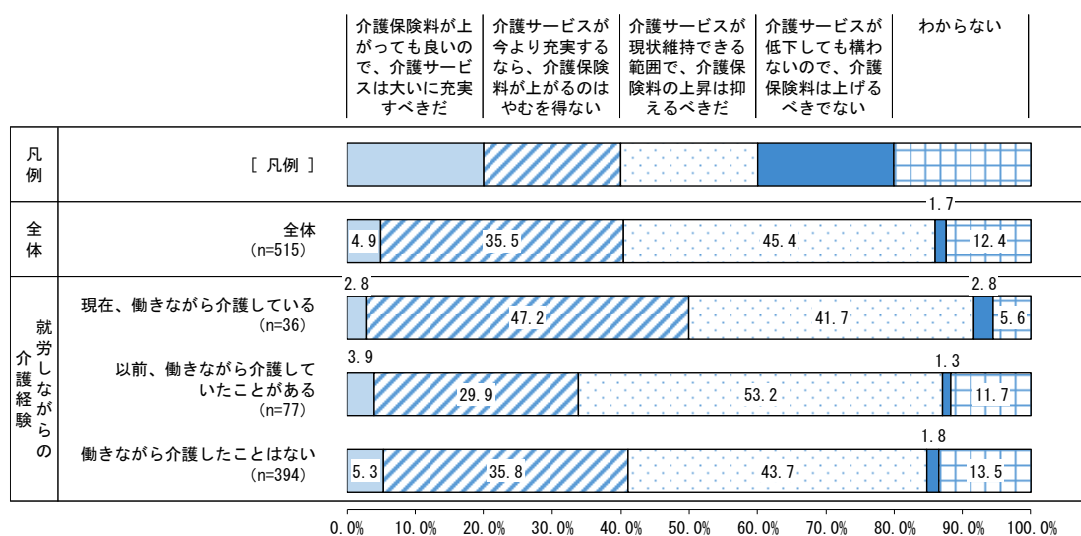
【全体】

- 介護サービスと介護保険料とのバランスについてについて、「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が 45.4%で最も多く、次いで「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」が 35.5%、「わからない」が 12.4%となっています。

【就労しながらの介護経験】

- 「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」は現在、働きながら介護している人が 47.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」は以前、働きながら介護していたことがある人が 53.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護サービスと介護保険料とのバランスについて】

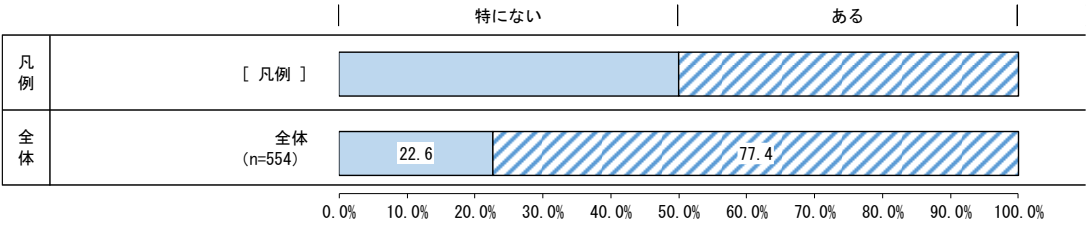


(4) 日常生活の不安について

●問4 (1) あなたは、将来に向けて、不安に思うことがありますか。(○はひとつ)

【全体】
○ 将来への不安について、「特にない」が22.6%、「ある」が77.4%となっています。

【将来への不安】



- 問4 (1) - ① [問4 (1) で「2. ある」を選んだ人のみ] どのようなことが不安ですか。
(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 不安に感じることにについて、「病気になることへの不安」が74.4%で最も多く、次いで「認知症になることへの不安」が72.5%、「家計面での不安」が66.7%となっています。

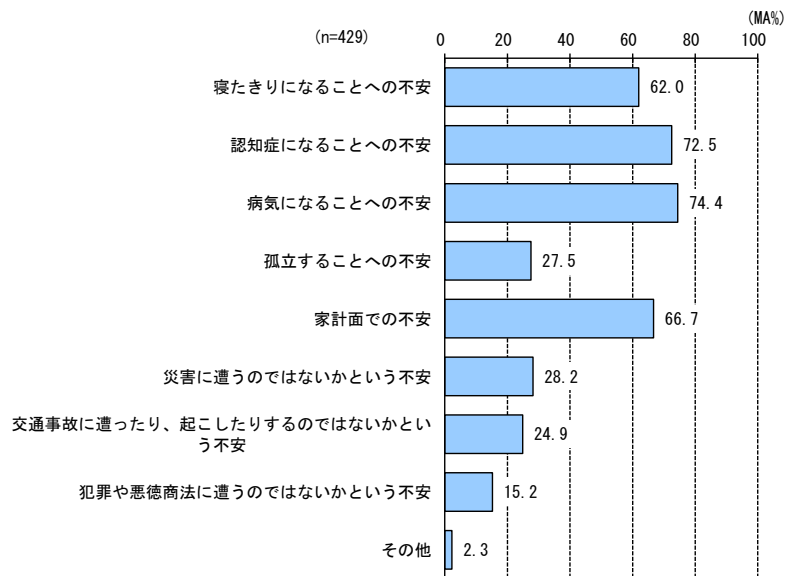
【年齢】

- 「犯罪や悪徳商法に遭うのではないかと不安」は60～64歳が23.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「災害に遭うのではないかと不安」は中ブロックが32.6%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「交通事故に遭ったり、起こしたりするのではないかと不安」は中ブロックが30.4%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「犯罪や悪徳商法に遭うのではないかと不安」は中ブロックが18.5%と他の圏域に比べて多くなっています。

【不安に感じること(MA)】



単位：%

		母数 (n)	不安に感じること (MA)								
			こ寝 とた きり に な る	と認 知 症 の 不 安 な る こ	へ病 気 に な る こ と	の孤 立 す る こ と へ	家 計 面 で の 不 安	不 安 な 災 害 に 遭 う こ と へ	いり た か と る 起 事 故 に 遭 う こ と へ	い に 犯 罪 や 悪 徳 商 法 に 遭 う こ と へ	そ の 他
全体		429	62.0	72.5	74.4	27.5	66.7	28.2	24.9	15.2	2.3
年齢	40～44歳	68	60.3	70.6	63.2	30.9	70.6	29.4	23.5	14.7	4.4
	45～49歳	78	62.8	69.2	76.9	32.1	66.7	32.1	29.5	17.9	1.3
	50～54歳	109	56.9	73.4	73.4	22.0	70.6	22.9	25.7	11.9	1.8
	55～59歳	93	64.5	75.3	82.8	26.9	54.8	30.1	28.0	9.7	1.1
	60～64歳	80	67.5	73.8	72.5	27.5	71.3	28.8	16.3	23.8	3.8
圏域	北ブロック	147	64.6	74.1	80.3	24.5	63.9	27.2	19.7	14.3	2.7
	中ブロック	135	56.3	67.4	71.9	25.2	68.9	32.6	30.4	18.5	3.0
	南ブロック	146	65.1	76.0	70.5	32.2	67.1	25.3	24.7	13.0	1.4
勤務形態	フルタイムで働いている	247	61.1	72.1	72.9	29.1	66.0	27.1	25.9	15.4	3.2
	パートタイムで働いている	116	60.3	72.4	74.1	19.0	69.0	25.9	19.8	12.1	0.9
	働いていない	54	66.7	75.9	81.5	33.3	64.8	40.7	31.5	16.7	1.9

(5) 日常生活の支援について

●問5 (1) 介護や支援が必要な人の日常生活を手助けするために、どのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 要介護・要支援者を手助けするために必要と思う支援について、「安否を確認する」が78.1%で最も多く、次いで「話し相手になる」が71.1%、「ごみ出し、高いところの作業などを手助けする」が62.5%となっています。

【圏域】

- 「安否を確認する」は南ブロックが80.6%と他の圏域に比べて多くなっています。

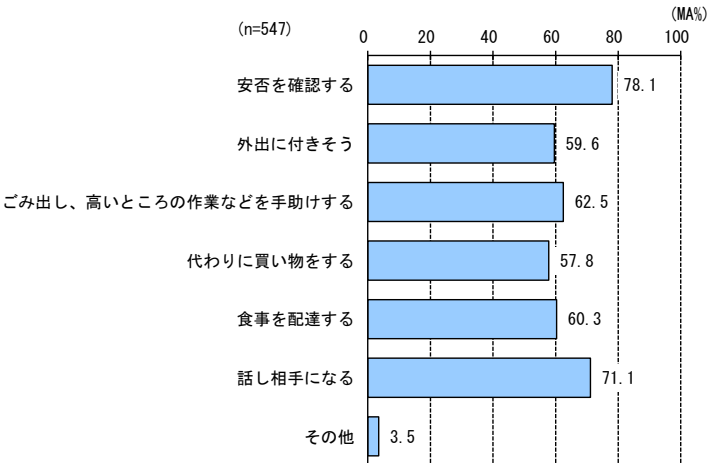
【就労しながらの介護経験】

- 「代わりに買い物をする」「食事を配達する」は現在、働きながら介護している人が他の区分に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 「安否を確認する」「外出に付きそう」「ごみ出し、高いところの作業などを手助けする」「代わりに買い物をする」「話し相手になる」はパートタイムで働いている人が他の区分に比べて多くなっています。

【要介護・要支援者を手助けするために必要と思う支援(MA)】



		母数 (n)	要介護・要支援者を手助けするために必要と思う支援(MA)							単位：%
			安 否 を 確 認 す る	外 出 に 付 き そ う	ど と ご み 出 し を 手 助 け す 業 高 い 所 の 作 業 な い	を 代 わ り に 買 い 物 を す る	食 事 を 配 達 す る	話 し 相 手 に な る	そ の 他	
全体		547	78.1	59.6	62.5	57.8	60.3	71.1	3.5	
年 齢	40～44歳	88	73.9	61.4	61.4	58.0	65.9	71.6	6.8	
	45～49歳	95	83.2	54.7	68.4	52.6	60.0	73.7	4.2	
	50～54歳	147	72.1	61.9	58.5	57.8	55.1	72.1	2.7	
	55～59歳	112	79.5	58.0	59.8	60.7	66.1	70.5	1.8	
	60～64歳	104	84.6	61.5	67.3	58.7	56.7	68.3	2.9	
圏 域	北ブロック	188	76.6	54.8	62.8	53.7	57.4	67.0	4.3	
	中ブロック	167	77.2	62.9	61.1	58.1	60.5	74.3	4.2	
	南ブロック	191	80.6	61.8	63.9	61.3	62.8	72.8	2.1	
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	39	74.4	69.2	66.7	64.1	71.8	61.5	5.1	
	以前、働きながら介護していたことがある	82	76.8	50.0	51.2	52.4	61.0	78.0	3.7	
	働きながら介護したことはない	417	78.7	60.7	64.3	58.0	59.2	70.5	3.4	
勤務形態	フルタイムで働いている	321	77.6	55.8	61.1	56.4	58.3	68.5	3.7	
	パートタイムで働いている	142	78.9	65.5	65.5	60.6	62.0	78.2	4.2	
	働いていない	71	77.5	60.6	60.6	53.5	63.4	64.8	1.4	

- 問5 (2) あなたは、前問のような日常生活を手助けするボランティアとして、活動することはできますか。(○はひとつ)

【全体】

- 生活支援ボランティアへの参加意向について、「活動できない」が50.9%で最も多く、次いで「わからない」が27.4%、「月に1～2日活動できる」が14.3%となっています。

【年齢】

- 「月に1～2日活動できる」は40～44歳が17.0%、55～59歳が17.5%と、他の区分が1割程度であるのに対し多くなっています。

【圏域】

- 「活動できない」は中ブロックが55.6%と他の圏域に比べて多くなっています。

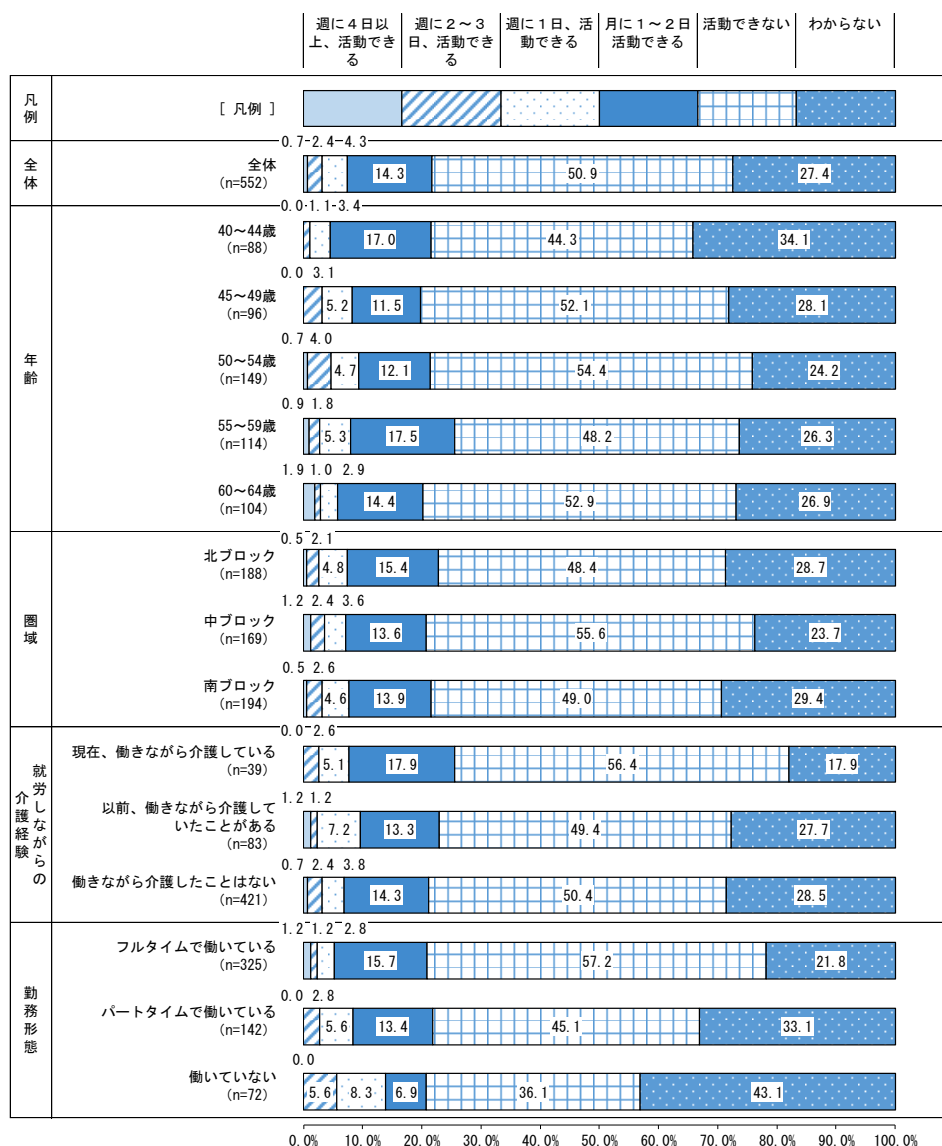
【就労しながらの介護経験】

- 「活動できない」は現在、働きながら介護している人が56.4%と他の区分に比べて多くなっています。一方で、「月に1～2日活動できる」が17.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 「週に2～3日、活動できる」は働いていない人が5.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 勤務時間が短くなるほど「活動できない」が少なくなる傾向がみられます。

【生活支援ボランティアへの参加意向】



- 問5 (2) - ① [問5 (2) で「1. 週に4日以上、活動できる」「2. 週に2～3日、活動できる」「3. 週に1日、活動できる」「4. 月に1～2日活動できる」を選んだ人のみ] どのような条件が整えば、進んでボランティア活動に参加すると思いますか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 進んで活動に参加できるための条件について、「自分が得意なことを生かせるのであれば」が 43.7%で最も多く、次いで「適当な報酬が得られれば」が 40.3%、「一緒に活動する仲間がいれば」が 38.7%となっています。

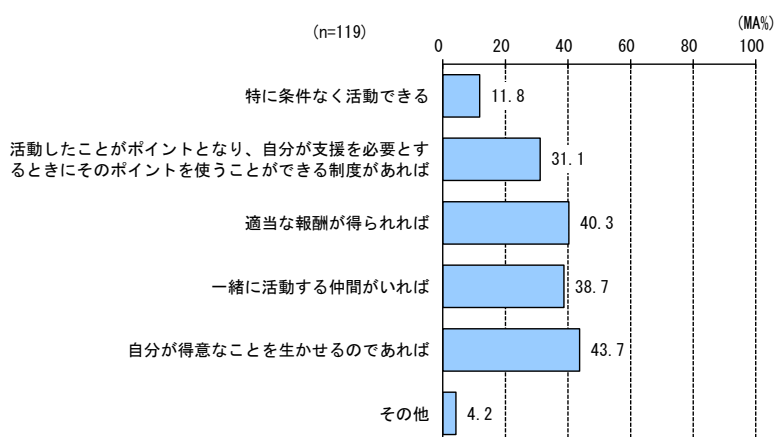
【年齢】

- 「特に条件なく活動できる」は 50～54 歳が 18.8%、55～59 歳が 21.4%と、他の区分が 1割未満～1割程度であるのに対し多くなっています。
- 「活動したことがポイントとなり、自分が支援を必要とするときにそのポイントを使うことができる制度があれば」「一緒に活動する仲間がいれば」は 60～64 歳が他の区分に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 「活動したことがポイントとなり、自分が支援を必要とするときにそのポイントを使うことができる制度があれば」はフルタイムで働いている人が 35.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「適当な報酬が得られれば」はパートタイムで働いている人では、54.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【進んで活動に参加できるための条件 (MA)】



単位：%

		母数 (n)	進んで活動に参加できるための条件 (MA)							
			特に 条件 なく 活動 で	度 が あ れ ば	使 う に よ り 支 援 を 必 要 と す る	活 動 し た こ と が ポ イ ン ト と な り	適 当 な 報 酬 が 得 ら れ ば	一 緒 に 活 動 す る 仲 間 が い れ ば	生 か せ る の で あ れ ば	自 分 が 得 意 な こ と を
全体		119	11.8		31.1	40.3	38.7	43.7		4.2
年齢	40～44歳	19	10.5	36.8	47.4	21.1	52.6	5.3		
	45～49歳	19	-	15.8	47.4	36.8	52.6	-		
	50～54歳	32	18.8	25.0	31.3	40.6	31.3	9.4		
	55～59歳	28	21.4	25.0	39.3	32.1	39.3	3.6		
	60～64歳	21	-	57.1	42.9	61.9	52.4	-		
圏域	北ブロック	42	7.1	38.1	47.6	42.9	52.4	7.1		
	中ブロック	35	14.3	22.9	22.9	28.6	51.4	2.9		
	南ブロック	42	14.3	31.0	47.6	42.9	28.6	2.4		
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	10	-	30.0	60.0	60.0	60.0	10.0		
	以前、働きながら介護していたことがある	19	10.5	15.8	36.8	15.8	47.4	5.3		
	働きながら介護したことはない	88	13.6	34.1	38.6	40.9	42.0	3.4		
勤務形態	フルタイムで働いている	67	13.4	35.8	35.8	38.8	46.3	3.0		
	パートタイムで働いている	31	9.7	22.6	54.8	38.7	45.2	3.2		
	働いていない	15	13.3	26.7	33.3	33.3	33.3	6.7		

- 問5 (2) - ② [問5 (2) で「5. 活動できない」を選んだ人のみ] なぜ、活動できないのですか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 活動に参加できない理由について、「仕事や家事で忙しいから」が86.1%で最も多く、次いで「高齢者や子ども、病気の家族の世話をしているから」が17.9%、「活動の内容や参加の方法がわからないから」が7.9%となっています。

【年齢】

- 「活動の内容や参加の方法がわからないから」は40～44歳が17.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

- 「高齢者や子ども、病気の家族の世話をしているから」は北ブロックが22.0%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「活動の内容や参加の方法がわからないから」は南ブロックが13.7%と他の圏域に比べて多くなっています。

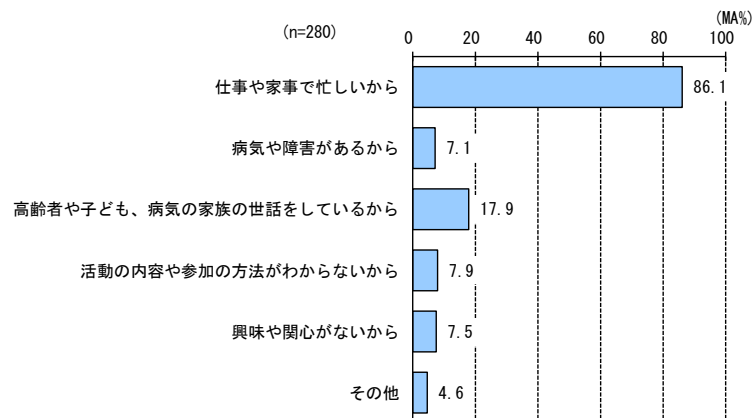
【就労しながらの介護経験】

- 「高齢者や子ども、病気の家族の世話をしているから」は現在、働きながら介護している人が54.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 「病気や障害があるから」は働いていない人が34.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「高齢者や子ども、病気の家族の世話をしているから」はフルタイムで働いているでは12.4%であるのに対し、パートタイムで働いている人では29.7%、働いていない人では26.9%となっています。
- 「興味や関心がないから」は働いていない人が23.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【活動に参加できない理由(MA)】



単位：%

		母数 (n)	活動に参加できない理由(MA)						単位：%
			し 仕事 から 家事 で忙	る 病 気 や 障 害 が あ	る の 世 話 を し て い る	高 齢 者 や 子 ど ろ の 家 族	加 活 動 の 方 法 が わ か ら な い	興 味 や 関 心 が な い	そ の 他
全体		280	86.1	7.1	17.9	7.9	7.5	4.6	
年 齢	40～44歳	39	82.1	7.7	23.1	17.9	7.7	7.7	
	45～49歳	50	80.0	8.0	16.0	4.0	8.0	8.0	
	50～54歳	80	88.8	5.0	20.0	5.0	6.3	3.8	
	55～59歳	55	90.9	5.5	18.2	7.3	7.3	5.5	
	60～64歳	55	85.5	10.9	10.9	9.1	9.1	-	
圏 域	北ブロック	91	89.0	2.2	22.0	6.6	4.4	4.4	
	中ブロック	93	87.1	9.7	14.0	3.2	9.7	3.2	
	南ブロック	95	82.1	9.5	16.8	13.7	8.4	6.3	
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	22	81.8	4.5	54.5	4.5	-	-	
	以前、働きながら介護していたことがある	41	82.9	9.8	29.3	2.4	7.3	4.9	
	働きながら介護したことはない	211	86.7	7.1	12.3	9.0	8.5	5.2	
勤務形態	フルタイムで働いている	185	93.5	3.8	12.4	8.1	5.4	4.3	
	パートタイムで働いている	64	82.8	4.7	29.7	9.4	7.8	4.7	
	働いていない	26	38.5	34.6	26.9	-	23.1	3.8	

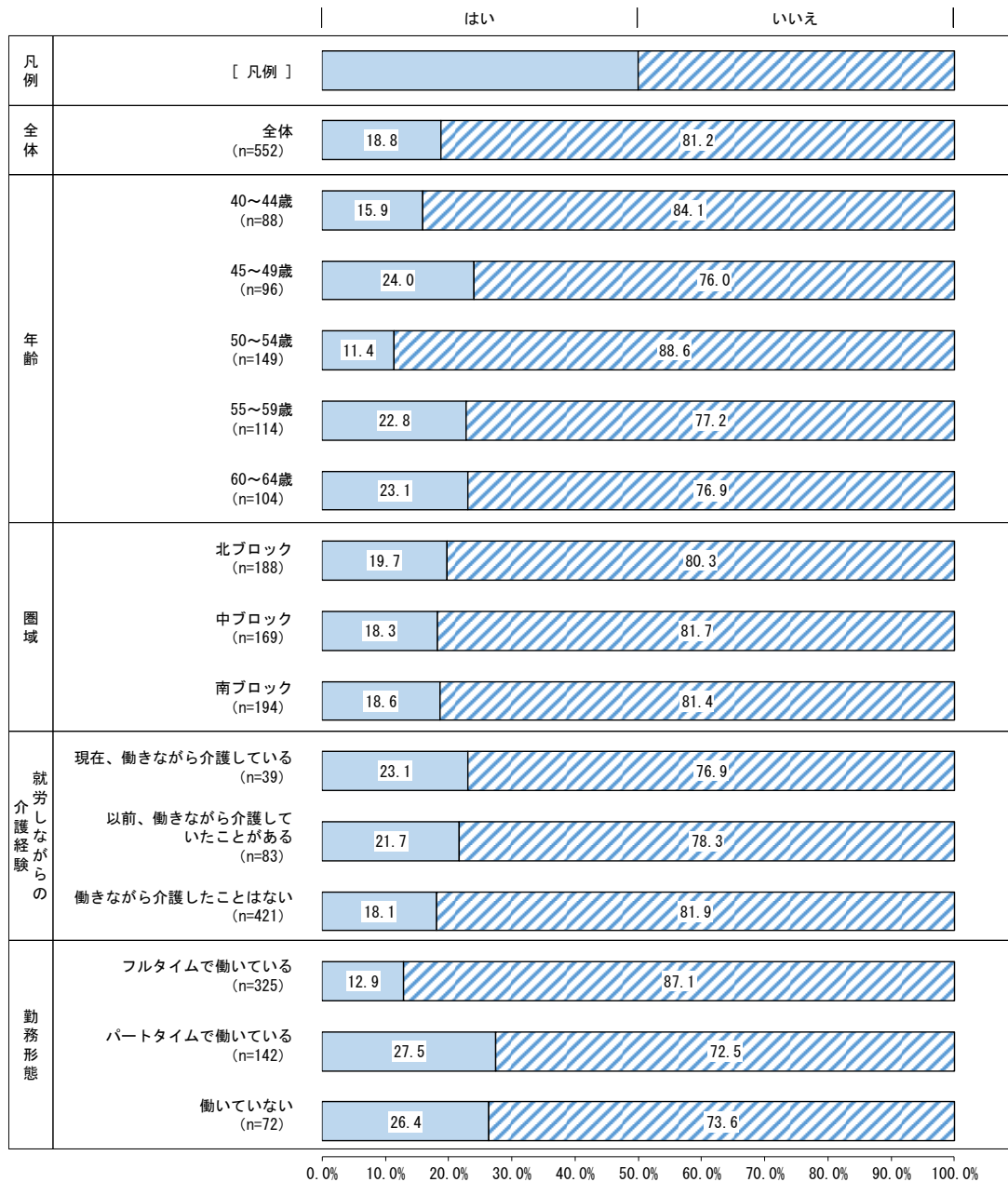
(6) 健康について

① がん検診

●問6 (1) 今年度、市の実施するがん検診を受けましたか。(○はひとつ)

【全体】	
○	がん検診の受診有無（過去1年）について、「はい」が18.8%、「いいえ」が81.2%となっています。
【年齢】	
○	「はい」は40～44歳が15.9%、50～54歳が11.4%と、他の区分が2割以上であるのに対し少なくなっています。
【勤務形態】	
○	「はい」はフルタイムで働いているが12.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【がん検診の受診有無（過去1年）】



- 問6 (1) - ① [問6 (1) で「1. はい」を選んだ人のみ] 受診したがん検診の種類をお答えください。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 受診したがん検診の種類について、「乳がん検診」が56.7%で最も多く、次いで「胃がん検診」が49.0%、「大腸がん検診」が48.1%となっています。

【年齢】

- 「胃がん検診」は40～44歳が42.9%、55～59歳が38.5%と、他の区分が5割～6割程度であるのに対し少なくなっています。
- 「大腸がん検診」は45～49歳が43.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「肺がん検診（胸部レントゲン）」は40～44歳が21.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「子宮頸がん検診」「乳がん検診」は60～64歳が他の区分に比べて少なくなっています。

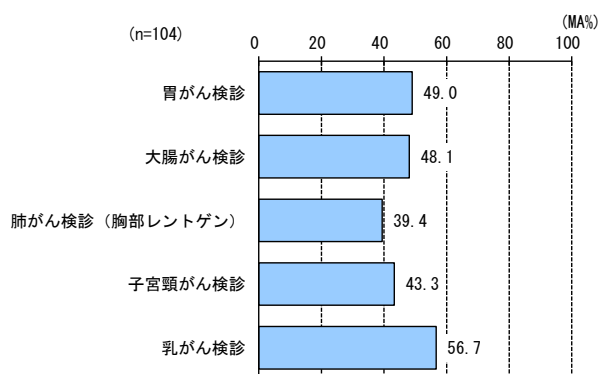
【圏域】

- 「大腸がん検診」「乳がん検診」は南ブロックが他の圏域に比べて少なくなっています。
- 「子宮頸がん検診」は北ブロックが35.1%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【勤務形態】

- 「胃がん検診」はパートタイムで働いている人が43.6%と他の区分に比べて少なくなっています。一方で、「乳がん検診」はパートタイムで働いている人が61.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「大腸がん検診」「肺がん検診（胸部レントゲン）」は働いていない人が他の区分に比べて多くなっています。一方で、「子宮頸がん検診」は働いていない人が26.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【受診したがん検診の種類(MA)】



単位：%

		母数 (n)	受診したがん検診の種類 (MA)					単位：%
			胃がん 検診	大腸がん 検診	肺がん レントゲン (胸)	子宮頸がん 検診	乳がん 検診	
全体		104	49.0	48.1	39.4	43.3	56.7	
年齢	40～44歳	14	42.9	50.0	21.4	42.9	57.1	
	45～49歳	23	56.5	43.5	39.1	47.8	65.2	
	50～54歳	17	58.8	47.1	47.1	47.1	58.8	
	55～59歳	26	38.5	50.0	38.5	42.3	65.4	
	60～64歳	24	50.0	50.0	45.8	37.5	37.5	
圏域	北ブロック	37	48.6	54.1	37.8	35.1	59.5	
	中ブロック	31	41.9	48.4	35.5	51.6	71.0	
	南ブロック	36	55.6	41.7	44.4	44.4	41.7	
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	9	22.2	44.4	22.2	33.3	55.6	
	以前、働きながら介護していたことがある	18	61.1	66.7	55.6	33.3	50.0	
	働きながら介護したことはない	76	50.0	44.7	38.2	46.1	57.9	
勤務形態	フルタイムで働いている	42	52.4	42.9	38.1	47.6	54.8	
	パートタイムで働いている	39	43.6	41.0	33.3	43.6	61.5	
	働いていない	19	52.6	73.7	57.9	26.3	52.6	

- 問6 (1) - ② [問6 (1) で「2. いいえ」を選んだ人のみ] がん検診を受診していない理由をお答えください。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- がん検診を受診していない理由について、「自分の職場で受けた（受ける）」が 32.8%で最も多く、次いで「忙しく時間がない」が 19.6%、「市の実施するがん検診を知らない」が 12.8%となっています。

【年齢】

- 「忙しく時間がない」は 50～54 歳が 23.5%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「健康なので必要ない」は 45～49 歳が 12.3%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「がんが見つかる怖い」は 40～44 歳が 15.1%と他の区分に比べて多くなっています。

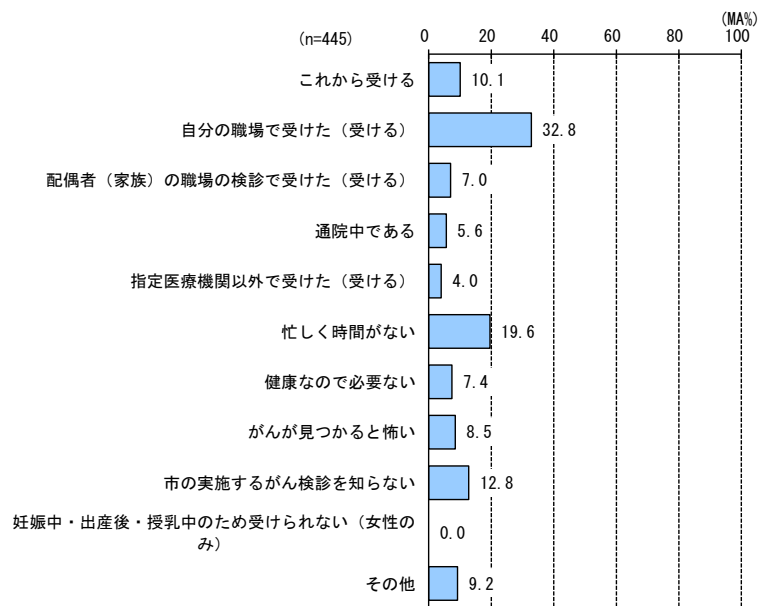
【圏域】

- 「忙しく時間がない」「市の実施するがん検診を知らない」は中ブロックが他の圏域に比べて多くなっています。
○ 「がんが見つかる怖い」は南ブロックが 12.0%と他の圏域に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 「通院中である」「指定医療機関以外で受けた（受ける）」「健康なので必要ない」「がんが見つかる怖い」は働いていない人が他の区分に比べて多くなっています。
○ 「忙しく時間がない」「市の実施するがん検診を知らない」はフルタイムで働いている人が他の区分に比べて多くなっています。

【がん検診を受診していない理由 (MA)】



単位：%

		母数 (n)	がん検診を受診していない理由 (MA)											単位：%
			これから受ける	自分の職場で受けた（受ける）	配偶者（家族）の職場の検診で受けた（受ける）	通院中である	指定医療機関以外で受けた（受ける）	忙しく時間がない	健康なので必要ない	がんが見つかる怖い	市の実施するがん検診を知らない	妊娠中・出産後・授乳中のため受けられない（女性のみ）	その他	
全体		445	10.1	32.8	7.0	5.6	4.0	19.6	7.4	8.5	12.8	-	9.2	
年齢	40～44歳	73	9.6	21.9	12.3	5.5	1.4	17.8	8.2	15.1	15.1	-	9.6	
	45～49歳	73	15.1	34.2	4.1	9.6	4.1	20.5	12.3	5.5	12.3	-	8.2	
	50～54歳	132	8.3	33.3	5.3	2.3	3.0	23.5	6.1	8.3	12.1	-	12.9	
	55～59歳	87	6.9	35.6	6.9	6.9	6.9	16.1	4.6	4.6	16.1	-	9.2	
	60～64歳	79	12.7	38.0	7.6	6.3	5.1	17.7	6.3	10.1	8.9	-	3.8	
圏域	北ブロック	150	10.7	32.7	10.0	2.7	4.7	18.7	8.7	8.0	12.0	-	8.0	
	中ブロック	136	11.0	35.3	6.6	5.9	0.7	21.3	4.4	5.1	14.7	-	8.8	
	南ブロック	158	8.9	31.0	4.4	8.2	6.3	19.0	8.2	12.0	12.0	-	10.8	
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	30	13.3	36.7	6.7	3.3	6.7	10.0	3.3	10.0	10.0	-	6.7	
	以前、働きながら介護していたことがある	65	13.8	30.8	3.1	7.7	3.1	21.5	10.8	10.8	3.1	-	13.8	
	働きながら介護したことはない	342	8.8	32.5	7.6	5.6	4.1	20.2	7.3	7.6	14.9	-	8.8	
勤務形態	フルタイムで働いている	280	6.4	42.5	1.1	2.1	3.6	22.1	5.4	5.7	18.2	-	10.7	
	パートタイムで働いている	103	18.4	23.3	16.5	2.9	2.9	16.5	8.7	8.7	2.9	-	7.8	
	働いていない	53	11.3	1.9	20.8	30.2	7.5	13.2	15.1	18.9	3.8	-	5.7	

- 問6 (2) がん検診を受診する体制としてよいと思うものについてお答えください。(○はひとつ)

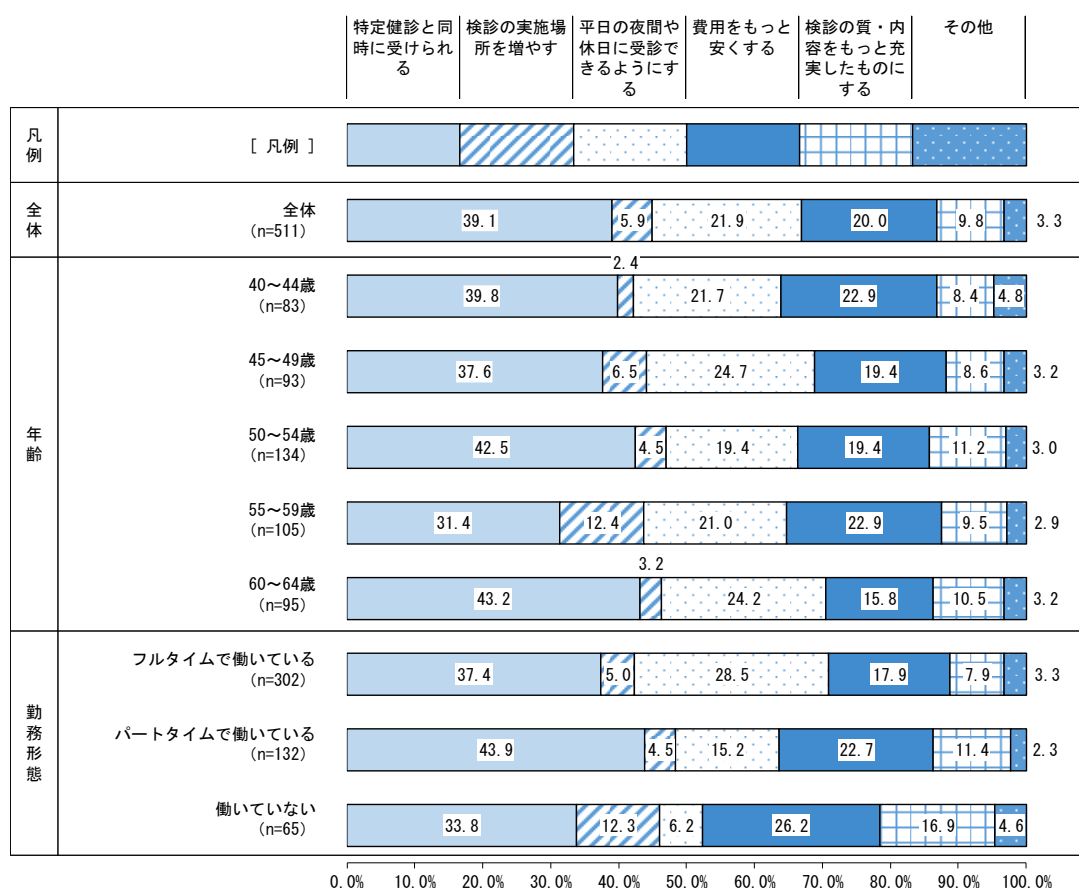
【全体】

- がん検診を受診するために良いと思う体制について、「特定健診と同時に受けられる」が39.1%で最も多く、次いで「平日の夜間や休日に受診できるようにする」が21.9%、「費用をもっと安くする」が20.0%となっています。

【勤務形態】

- 「特定健診と同時に受けられる」はパートタイムで働いている人が43.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「平日の夜間や休日に受診できるようにする」はフルタイムで働いている人が28.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【がん検診を受診するために良いと思う体制】

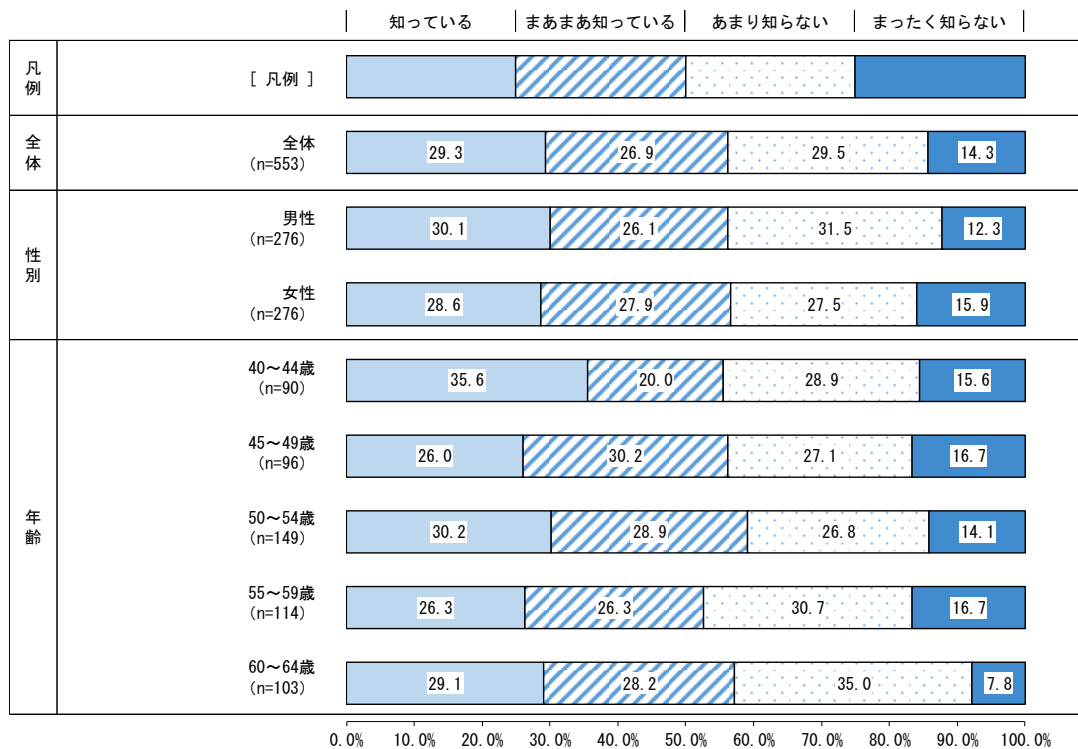


② 食生活や運動等

●問6 (3) 1日に必要な野菜の量は1人350gということを知っていますか。(○はひとつ)

【全体】	
○	野菜の摂取量目安の認知度について、「まあまあ知っている」が29.5%で最も多く、次いで「知っている」が29.3%、「あまり知らない」が26.9%となっています。
【年齢】	
○	「知っている」は40～44歳が35.6%と他の区分に比べて多くなっています。
○	「まったく知らない」は60～64歳が7.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【野菜の摂取量目安の認知度】



- 問6 (4) ここ1週間で野菜の料理は片手のげんこつ大1個に換算して1日何個くらい食べていますか。(○はひとつ)

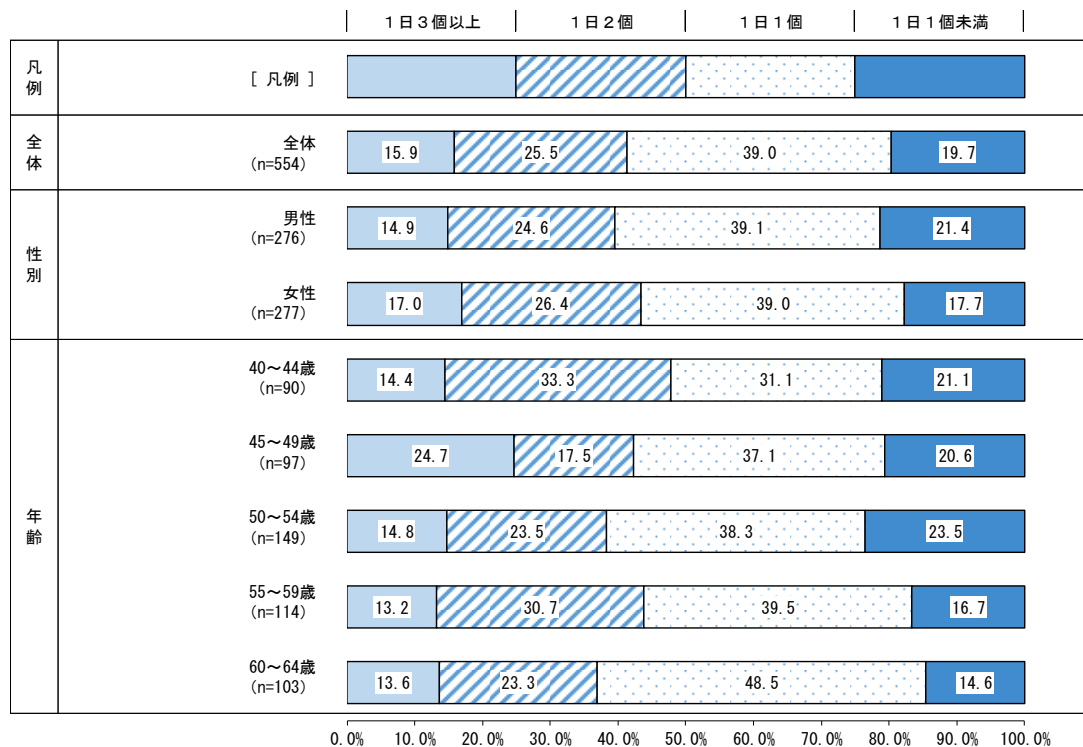
【全体】

- 野菜料理を食べた量（直近1週間）について、「1日1個」が39.0%で最も多く、次いで「1日2個」が25.5%、「1日1個未満」が19.7%となっています。

【年齢】

- 「1日3個以上」は45～49歳が24.7%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「1日2個」は40～44歳が33.3%、55～59歳が30.7%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 年齢が高いほど「1日1個」が多くなる傾向がみられます。
 ○ 「1日1個未満」は55～59歳が16.7%、60～64歳が14.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

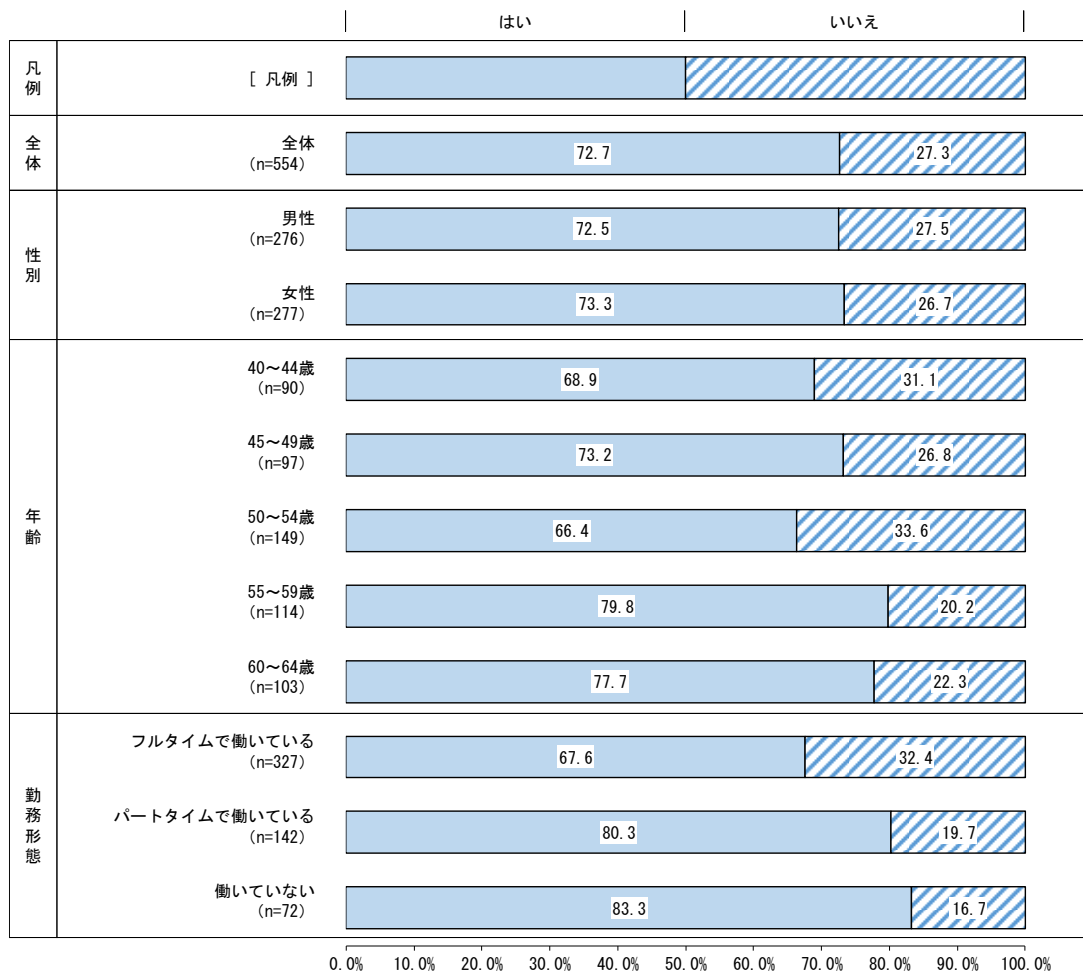
【野菜料理を食べた量（直近1週間）】



- 問6 (5) 健康づくりのため、食生活や運動等について実践していることはありますか。(○はひとつ)

【全体】	
○	実践している健康づくりの有無について、「はい」が72.7%、「いいえ」が27.3%となっています。
【年齢】	
○	「はい」は55～59歳が79.8%、60～64歳が77.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【勤務形態】	
○	「はい」はフルタイムで働いている人が67.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【実践している健康づくりの有無】



- 問6 (5) - ① [問6 (5) で「1. はい」を選んだ人のみ] 気を付けていることをお答えください。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 健康づくりのために気を付けていることについて、「定期的に体重を測る」が44.7%で最も多く、次いで「こまめに体を動かす」が40.2%、「主食・主菜・副菜」を基本とした食事のバランスを心がける」が40.0%となっています。

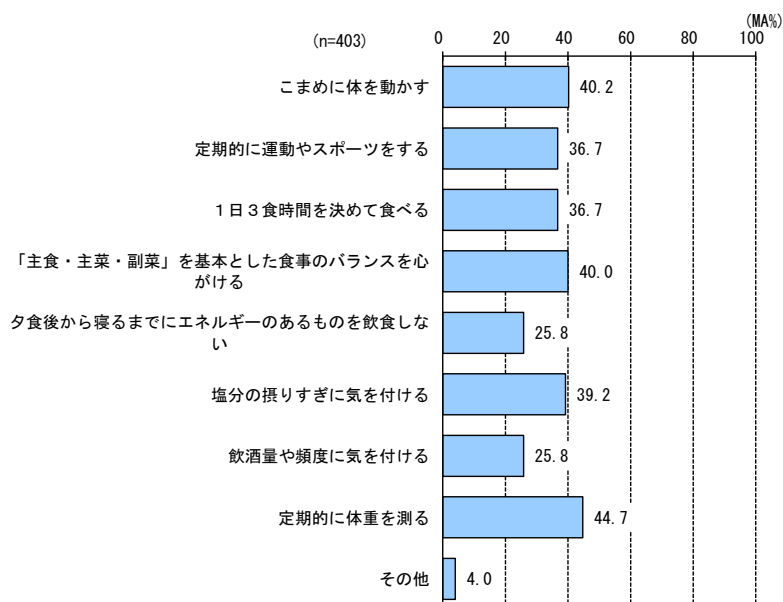
【性別】

- 「定期的に運動やスポーツをする」「夕食後から寝るまでにエネルギーのあるものを飲食しない」は男性が女性に比べて多くなっています。
○ 「1日3食時間を決めて食べる」「飲酒量や頻度に気を付ける」は女性が男性に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 「定期的に運動やスポーツをする」「飲酒量や頻度に気を付ける」はフルタイムで働いている人が他の区分に比べて多くなっています。一方で、「1日3食時間を決めて食べる」「塩分の摂りすぎに気を付ける」「定期的に体重を測る」はフルタイムで働いている人が他の区分に比べて少なくなっています。

【健康づくりのために気を付けていること (MA)】



単位：%

		母数 (n)	健康づくりのために気を付けていること (MA)										単位: %
			か す こまめに 体を動	ス ポ ー ツ を す る 定 期 的 に 運 動 や	決 め て 食 べ る 1 日 3 食 時 間 を	シ ス を 心 が け る 食 事 の バ ラ ン ス	副 菜 を 基 本 と す る 「主 食 ・ 主 菜 ・ 副 菜 」 を 基 本 と す る	「主 食 ・ 主 菜 ・ 副 菜 」 を 基 本 と す る を 飲 食 し な い も の	タ マ 食 後 か ら 寝 る ま で に エ ネ ル ギ ー の あ る も の	塩 分 の 摂 り す ぎ に 気 を 付 け る	飲 酒 量 や 頻 度 に 気 を 付 け る	測 る 定 期 的 に 体 重 を	そ の 他
全体		403	40.2	36.7	36.7	40.0	25.8	39.2	25.8	44.7	4.0		
性別	男性	200	38.0	40.0	33.0	38.0	28.5	38.0	20.5	46.5	5.0		
	女性	203	42.4	33.5	40.4	41.9	23.2	40.4	31.0	42.9	3.0		
年齢	40～44歳	62	30.6	32.3	33.9	43.5	19.4	41.9	24.2	32.3	6.5		
	45～49歳	71	39.4	38.0	42.3	39.4	25.4	35.2	35.2	47.9	7.0		
	50～54歳	99	52.5	40.4	39.4	32.3	25.3	31.3	24.2	41.4	2.0		
	55～59歳	91	36.3	37.4	33.0	36.3	28.6	39.6	25.3	48.4	3.3		
	60～64歳	80	37.5	33.8	35.0	51.3	28.8	50.0	21.3	51.3	2.5		
勤務形態	フルタイムで働いている	221	40.7	42.1	30.8	34.4	20.8	36.7	27.1	42.5	3.6		
	パートタイムで働いている	114	36.0	31.6	41.2	42.1	26.3	41.2	24.6	46.5	3.5		
	働いていない	60	50.0	28.3	48.3	56.7	43.3	41.7	23.3	46.7	6.7		

- 問6 (5) - ② [問6 (5) で「2. いいえ」を選んだ人のみ] 実践しない理由は何ですか。
(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 実践しない理由について、「時間がない」が 59.7%で最も多く、次いで「関心がない」が 25.5%、「健康だから」が 19.5%となっています。

【性別】

- 「健康だから」「時間がない」は女性が男性に比べて多くなっています。
○ 「方法が分からない」は男性が 16.0%と女性の 5.5%に比べて多くなっています。

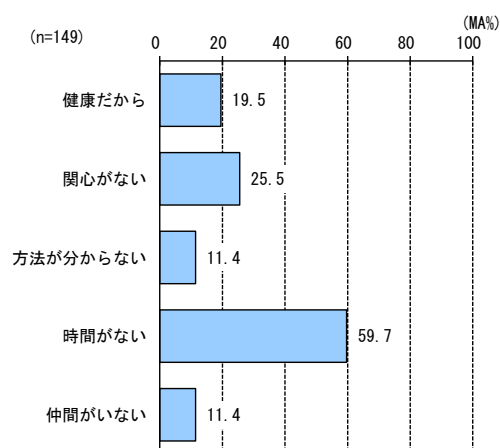
【年齢】

- 「健康だから」は 45～49 歳が 34.6%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「方法が分からない」は 50～54 歳が 16.3%、60～64 歳が 13.0%と、他の区分が 1 割未満であるのに対し多くなっています。
○ 「仲間がいない」は 60～64 歳が 17.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 「関心がない」「方法が分からない」は働いていない人が他の区分に比べて多くなっています。

【実践しない理由 (MA)】



単位：%

単位：%

		母数 (n)	実践しない理由(MA)				
			健康だから	関心がない	方法が分からない	時間がない	仲間がいない
全体		149	19.5	25.5	11.4	59.7	11.4
性別	男性	75	14.7	26.7	16.0	57.3	12.0
	女性	73	24.7	24.7	5.5	63.0	11.0
年齢	40～44歳	27	18.5	33.3	3.7	63.0	11.1
	45～49歳	26	34.6	30.8	7.7	38.5	7.7
	50～54歳	49	14.3	20.4	16.3	71.4	10.2
	55～59歳	23	21.7	17.4	8.7	60.9	13.0
	60～64歳	23	13.0	30.4	13.0	56.5	17.4
勤務形態	フルタイムで働いている	105	20.0	21.0	8.6	68.6	10.5
	パートタイムで働いている	28	21.4	32.1	10.7	57.1	-
	働いていない	12	8.3	50.0	41.7	-	25.0

(7) 認知症対策について

- 問7 (1) 将来、ご自身やご家族が認知症になるおそれがあることに対して、不安がありますか。(○はひとつ)

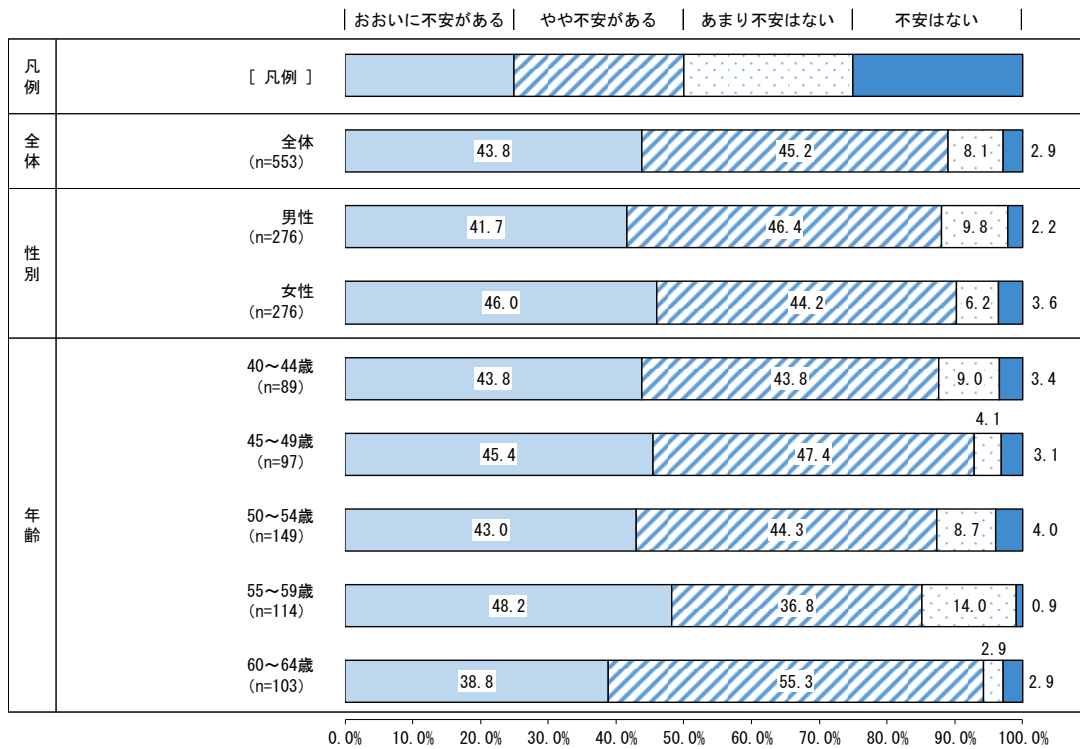
【全体】

- 認知症に対する不安の有無について、「やや不安がある」が45.2%で最も多く、次いで「おおいに不安がある」が43.8%、「あまり不安はない」が8.1%となっています。

【年齢】

- 「おおいに不安がある」は60～64歳が38.8%と他の区分に比べて少なくなっています。一方で、「やや不安がある」は60～64歳が55.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症に対する不安の有無】



- 問7 (2) 認知症が疑われる場合に相談できる「もの忘れ外来」などの専門医療機関があることをご存じですか。(○はひとつ)

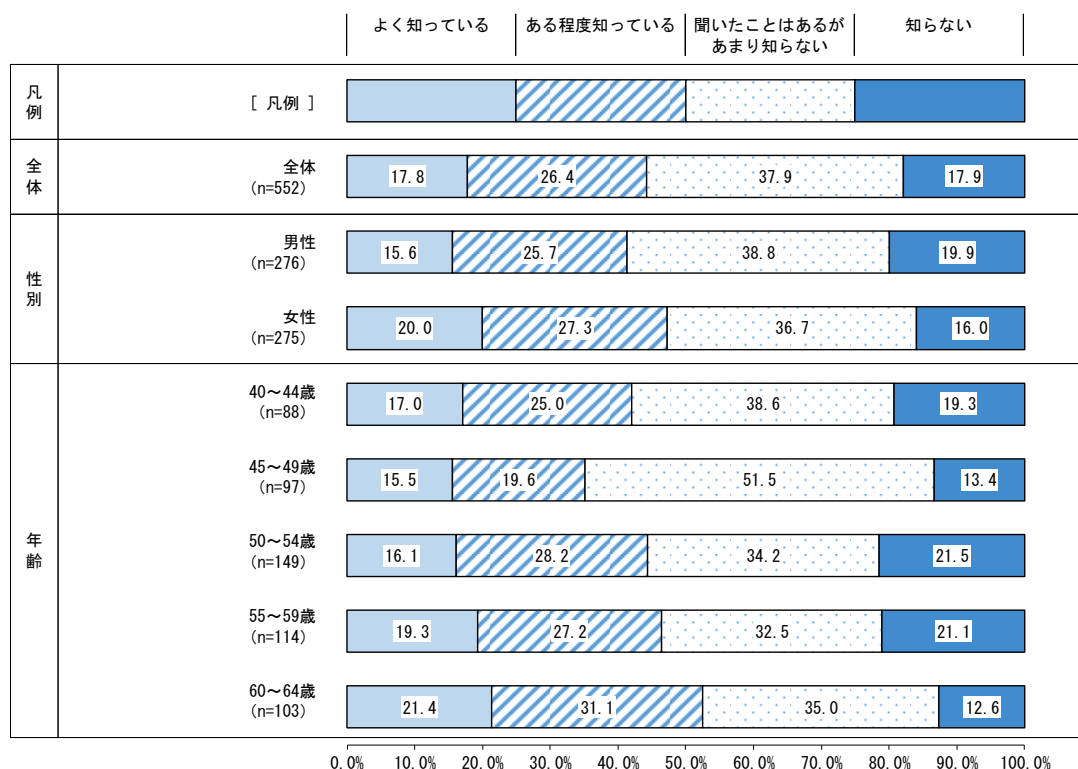
【全体】

- 認知症専門医療機関の認知度について、「聞いたことはあるがあまり知らない」が37.9%で最も多く、次いで「ある程度知っている」が26.4%、「知らない」が17.9%となっています。

【年齢】

- 50歳以上では年齢が高いほど「よく知っている」「ある程度知っている」が多くなる傾向がみられます。
- 「聞いたことはあるがあまり知らない」は45～49歳が51.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症専門医療機関の認知度】



●問7 (3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○はひとつ)

【全体】

- 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が 29.7%、「いいえ」が 70.3%となっています。

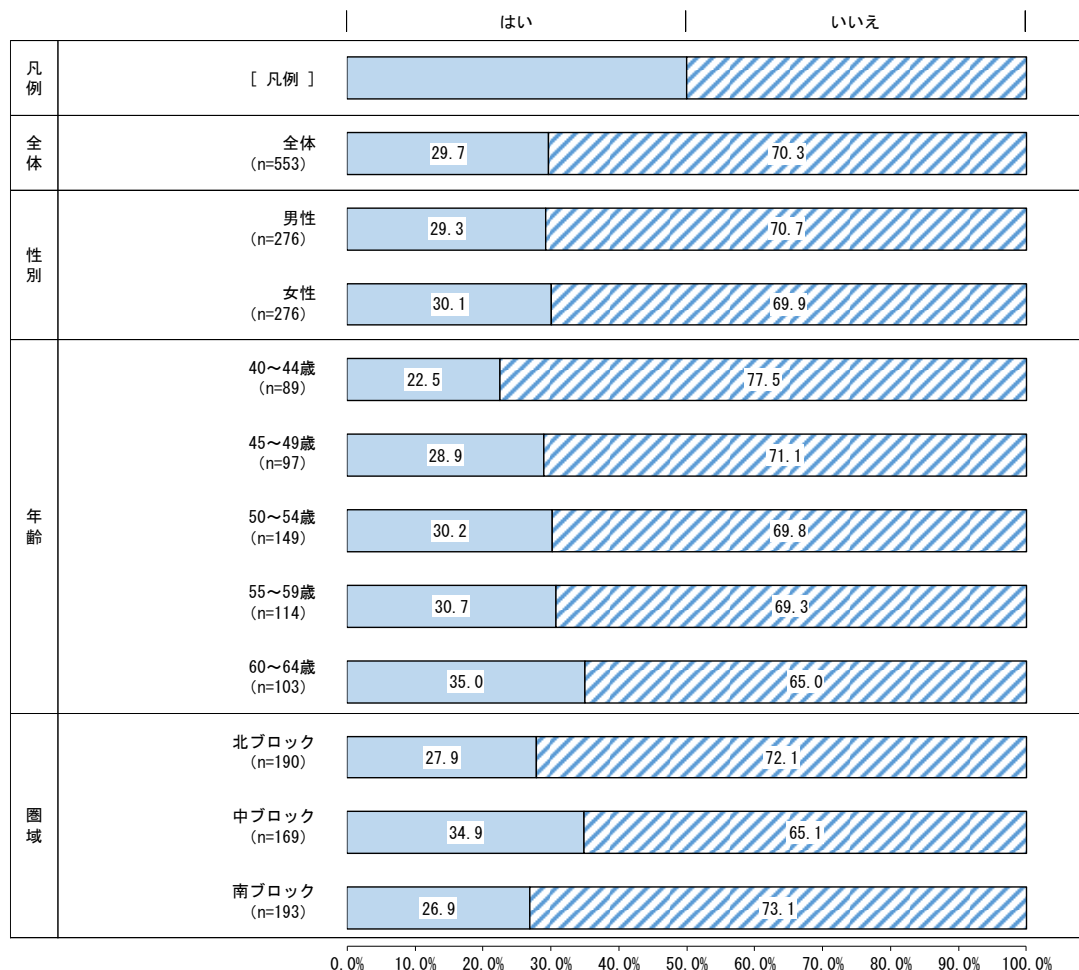
【年齢】

- 年齢が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。

【圏域】

- 「はい」は中ブロックが 34.9%と他の圏域に比べて多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の認知度】



- 問7 (3) - ① [問7 (3) で「1. はい」を選んだ人のみ] 認知症に関する以下の相談窓口をご存じですか。(当てはまるものすべてに○)

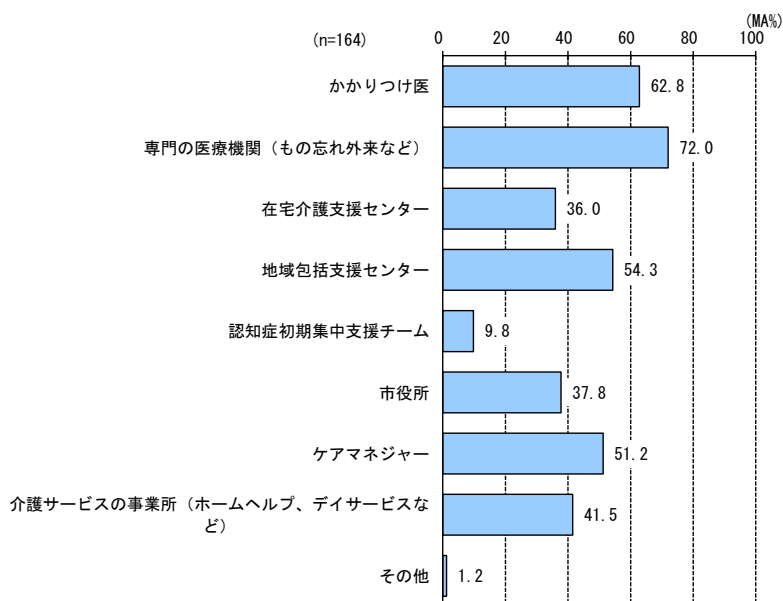
【全体】

- 知っている認知症に関する相談窓口について、「専門の医療機関（もの忘れ外来など）」が72.0%で最も多く、次いで「かかりつけ医」が62.8%、「地域包括支援センター」が54.3%となっています。

【圏域】

- 「かかりつけ医」「在宅介護支援センター」「介護サービスの事業所（ホームヘルプ、デイサービスなど）」は北ブロックが他の圏域に比べて多くなっています。
- 「専門の医療機関（もの忘れ外来など）」「認知症初期集中支援チーム」「市役所」は中ブロックが他の圏域に比べて多くなっています。

【知っている認知症に関する相談窓口 (MA)】



単位：%

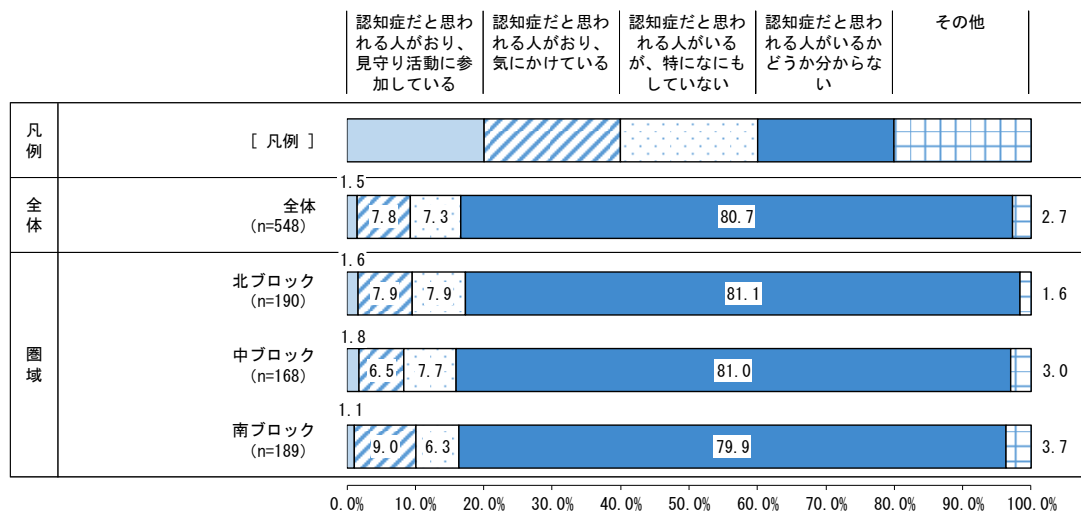
単位：%											
		母数 (n)	知っている認知症に関する相談窓口(MA)								
			かかりつけ 医	専門の医療機関 (への忘れ外来 など)	在宅介護支援セ ンター	地域包括支援セ ンター	認知症初期集 中支援チーム	市役所	ケアマネジャー	介護サービス の事業所(ホーム ヘルプ、デイ サービスなど)	その他
全体		164	62.8	72.0	36.0	54.3	9.8	37.8	51.2	41.5	1.2
性別	男性	81	66.7	69.1	35.8	59.3	6.2	37.0	50.6	46.9	1.2
	女性	83	59.0	74.7	36.1	49.4	13.3	38.6	51.8	36.1	1.2
年齢	40～44歳	20	55.0	85.0	20.0	45.0	5.0	45.0	45.0	50.0	5.0
	45～49歳	28	67.9	64.3	32.1	50.0	10.7	25.0	64.3	50.0	-
	50～54歳	45	64.4	71.1	26.7	48.9	8.9	42.2	51.1	35.6	-
	55～59歳	35	60.0	77.1	54.3	57.1	11.4	34.3	42.9	37.1	-
	60～64歳	36	63.9	66.7	41.7	66.7	11.1	41.7	52.8	41.7	2.8
圏域	北ブロック	53	69.8	69.8	39.6	54.7	1.9	35.8	52.8	45.3	3.8
	中ブロック	59	57.6	79.7	35.6	52.5	18.6	45.8	52.5	39.0	-
	南ブロック	52	61.5	65.4	32.7	55.8	7.7	30.8	48.1	40.4	-

- 問7 (4) あなたのお住まいの近所には認知症だと思われる人がいますか。また、そのような人に対して配慮されていますか。(○はひとつ)

【全体】

- 地域での認知症だと思われる人に対する状況について、「認知症だと思われる人がいるかどうか分からない」が 80.7%で最も多く、次いで「認知症だと思われる人がおり、気にかけている」が 7.8%、「認知症だと思われる人がいるが、特になにもしていない」が 7.3%となっています。

【地域での認知症だと思われる人に対する状況】



●問7 (5)「認知症サポーター」についてご存じですか。(○はひとつ)

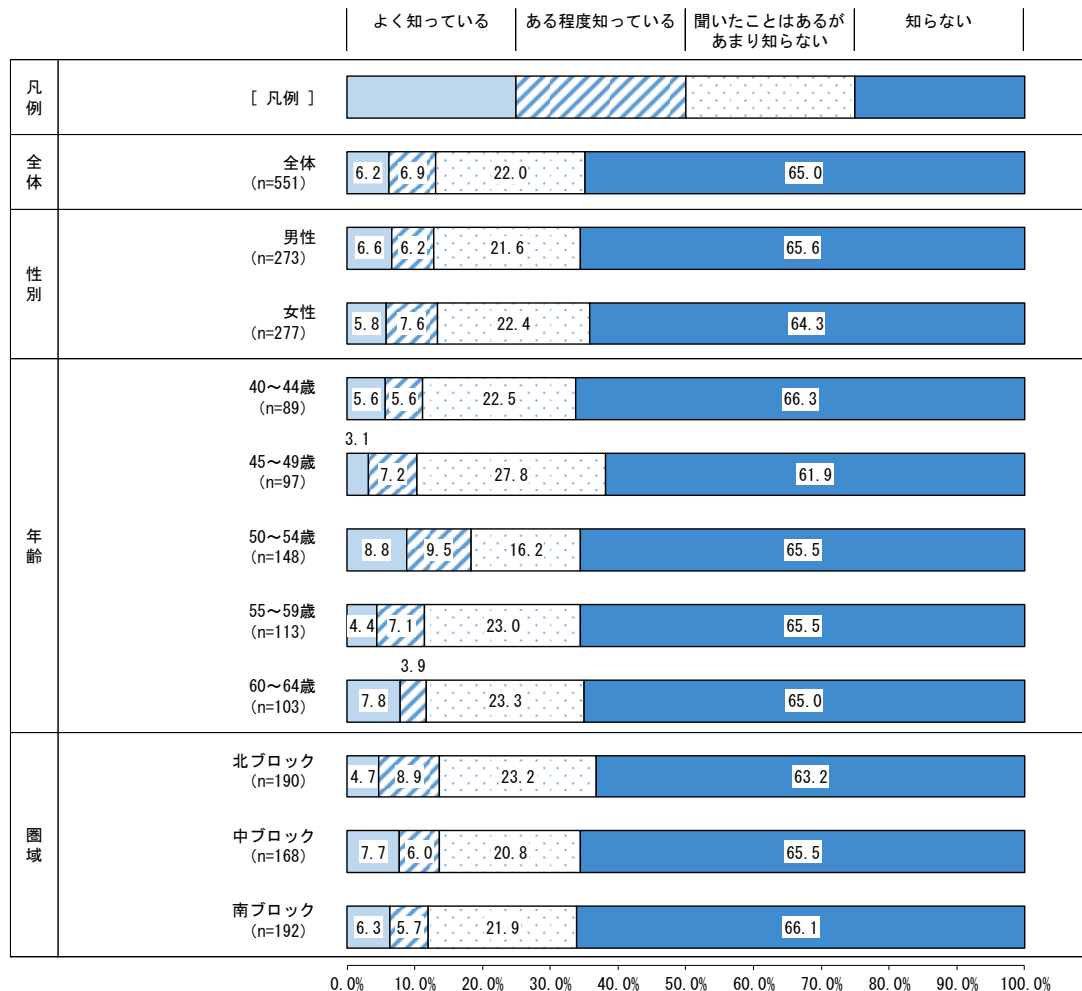
【全体】

- 認知症サポーターの認知度について、「知らない」が65.0%で最も多く、次いで「聞いたことはあるがあまり知らない」が22.0%、「ある程度知っている」が6.9%となっています。

【年齢】

- 「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせた“知っている”は 50～54 歳が 18.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症サポーターの認知度】

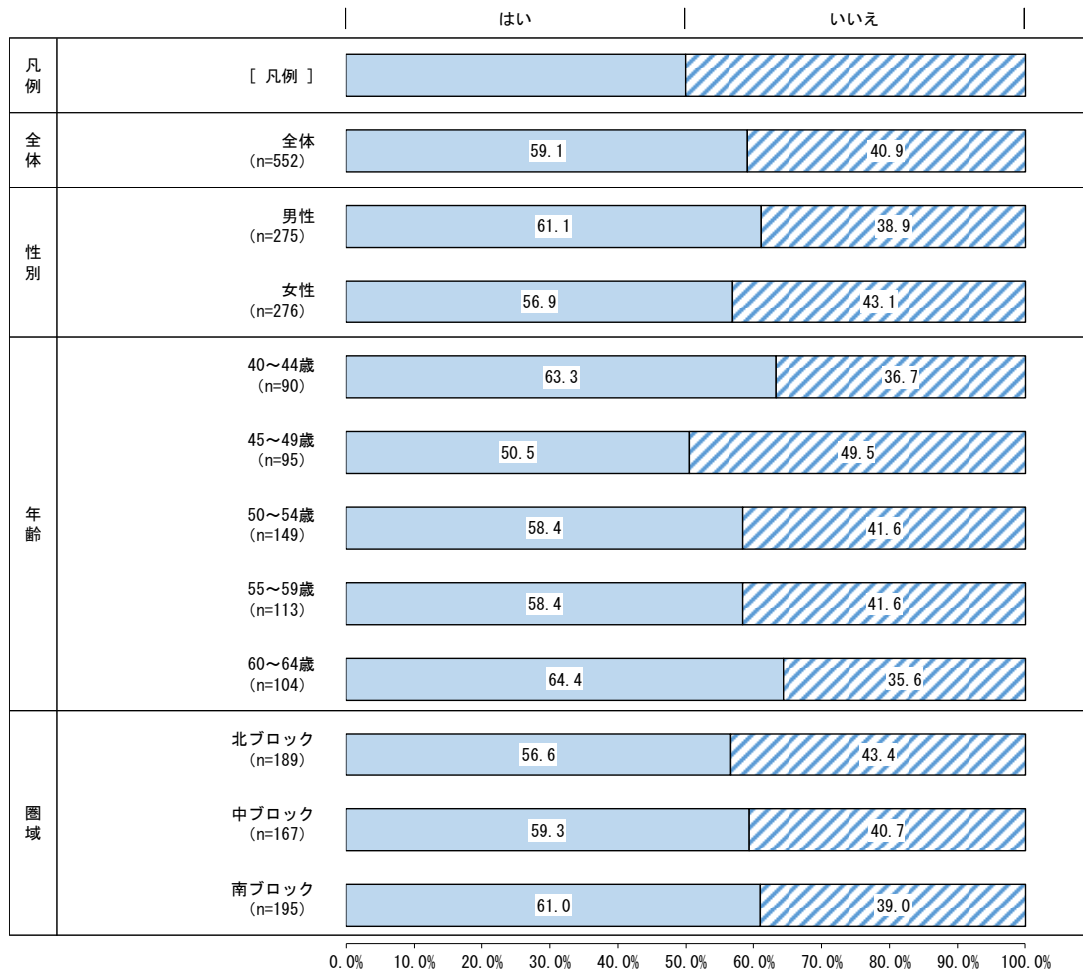


(8) 在宅医療について

- 問8 (1) あなたには、「かかりつけ医（主治医）」または、いつもかかっている医療機関がありますか。（○はひとつ）

【全体】
○ かかりつけ医の有無について、「はい」が59.1%、「いいえ」が40.9%となっています。
【年齢】
○ 「いいえ」は45～49歳が49.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 「いいえ」は北ブロックが43.4%と他の圏域に比べて多くなっています。

【かかりつけ医の有無】



- 問8 (2) 通院が困難な方へ医師が診療計画を立て、定期的な診療を行う「訪問診療」という制度を知っていますか。(○はひとつ)

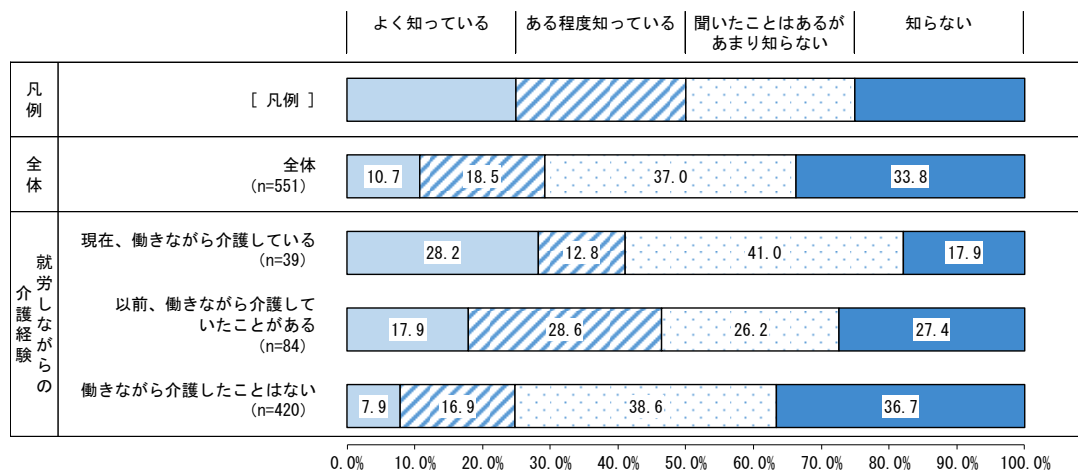
【全体】

- 訪問診療の認知度について、「聞いたことはあるがあまり知らない」が37.0%で最も多く、次いで「知らない」が33.8%、「ある程度知っている」が18.5%となっています。

【就労しながらの介護経験】

- 「よく知っている」は現在、働きながら介護している人が28.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせた“知っている”は就労しながらの介護経験がある人がない人に比べて多くなっています。

【訪問診療の認知度】



- 問8 (3) あなたは、ご自分が最期を迎える場合、どこで看取られることを希望しますか。
(○はひとつ)

【全体】

- 人生の最期を迎える時に希望する場所（自身）について、「分からない」が33.6%で最も多く、次いで「自宅」が31.9%、「病院」が19.4%となっています。

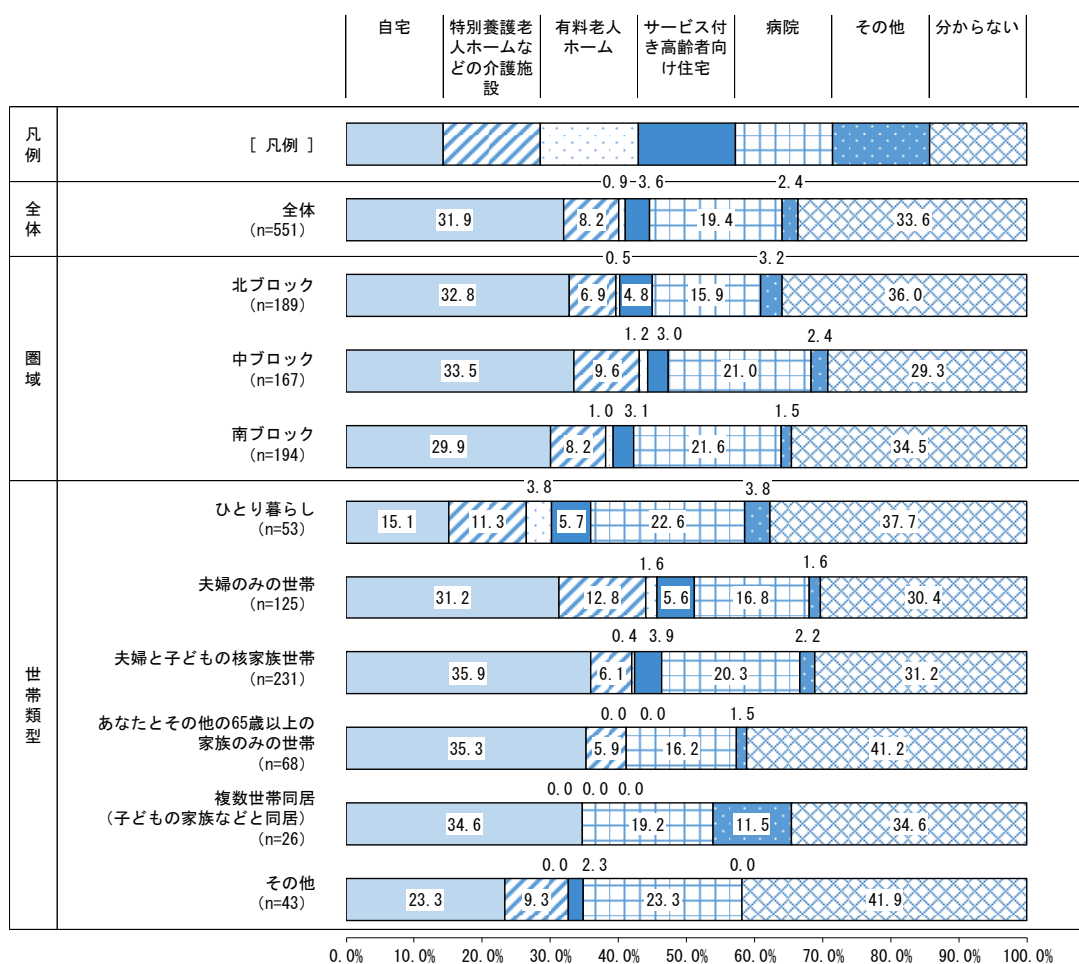
【圏域】

- 「サービス付き高齢者向け住宅」は北ブロックが4.8%と他の圏域に比べて多くなっています。
○ 「分からない」は中ブロックが29.3%と他の圏域に比べて少なくなっています。

【世帯類型】

- ひとり暮らしでは、「分からない」が37.7%で最も多く、次いで「病院」が22.6%、「自宅」が15.1%となっていますが、「自宅」は他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「有料老人ホーム」はひとり暮らしが3.8%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「サービス付き高齢者向け住宅」はひとり暮らしが5.7%、夫婦のみの世帯が5.6%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「分からない」はあなたとその他の65歳以上の家族のみの世帯が41.2%、その他が41.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【人生の最期を迎える時に希望する場所（自身）】



- 問8 (4) あなたは、ご家族が最期を迎える場合、どこで看取ることを希望しますか。(○はひとつ)

【全体】

- 人生の最期を迎える時に希望する場所（家族）について、「自宅」が32.0%で最も多く、次いで「分からない」が27.4%、「病院」が24.1%となっています。

【圏域】

- 「自宅」は中ブロックが35.8%と他の圏域に比べて多くなっています。
○ 「病院」は南ブロックが29.0%と他の圏域に比べて多くなっています。

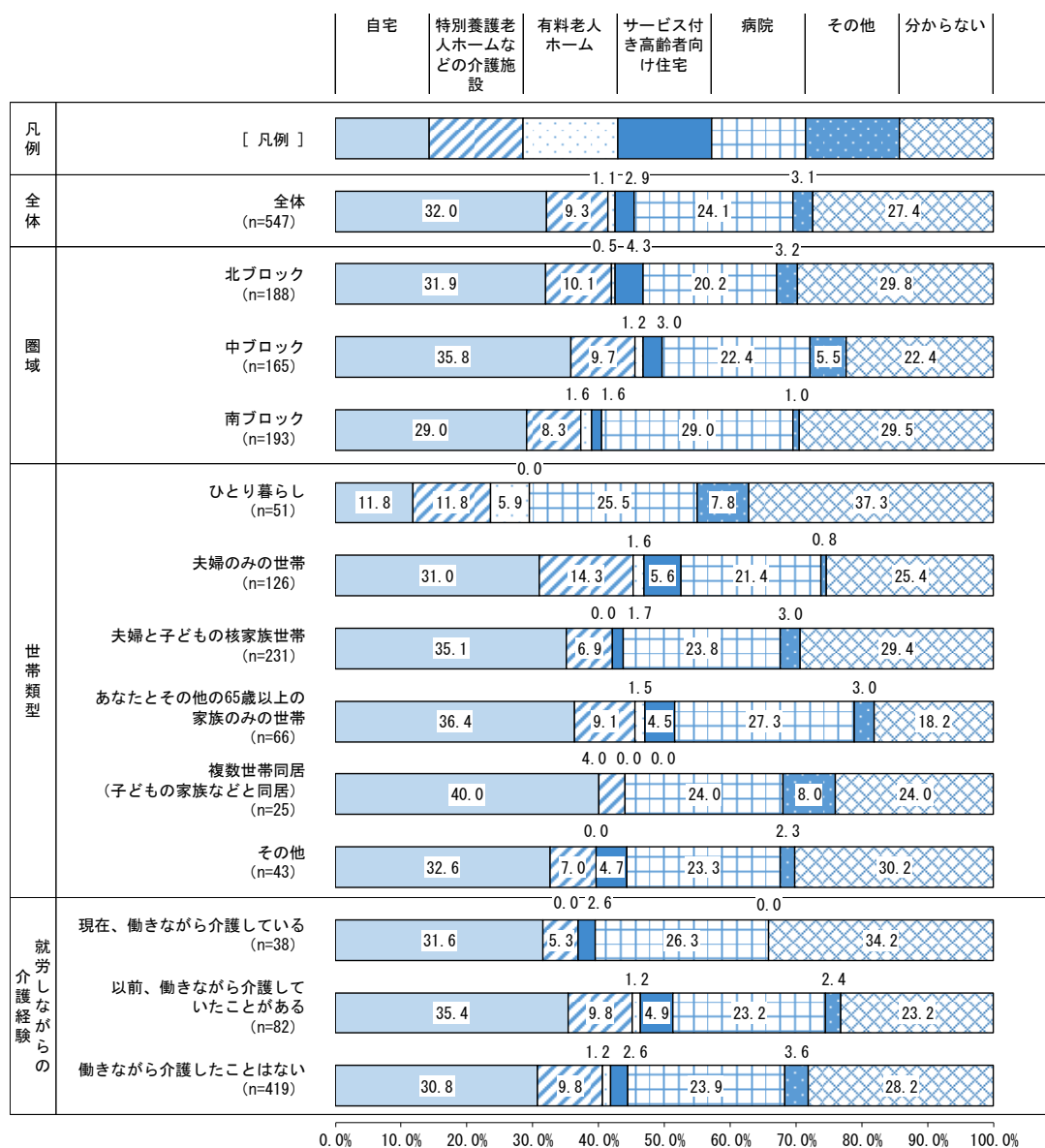
【世帯類型】

- ひとり暮らしでは、「分からない」が37.3%で最も多く、次いで「病院」が25.5%、「自宅」「特別養護老人ホームなどの介護施設」が11.8%となっていますが、「自宅」は他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「有料老人ホーム」「分からない」はひとり暮らしが他の区分に比べて多くなっています。

【就労しながらの介護経験】

- 現在、働きながら介護している人では、「分からない」が34.2%で最も多く、他の区分に比べて多くなっています。
○ 「自宅」は以前、働きながら介護していたことがある人が35.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【人生の最期を迎える時に希望する場所（家族）】



- 問8 (5) あなた、またはあなたのご家族が介護を必要とし、さらに、治る見込みのない病気になった場合、自宅で最期まで療養することができると思いますか。(○はひとつ)

【全体】

- 自宅で療養しながら最後まで過ごすことができると思うかについて、「できないと思う」が 58.2%で最も多く、次いで「わからない」が 32.8%、「できると思う」が 9.1%となっています。

【世帯類型】

- 「できないと思う」はひとり暮らしが 69.8%と他の区分に比べて多くなっています。

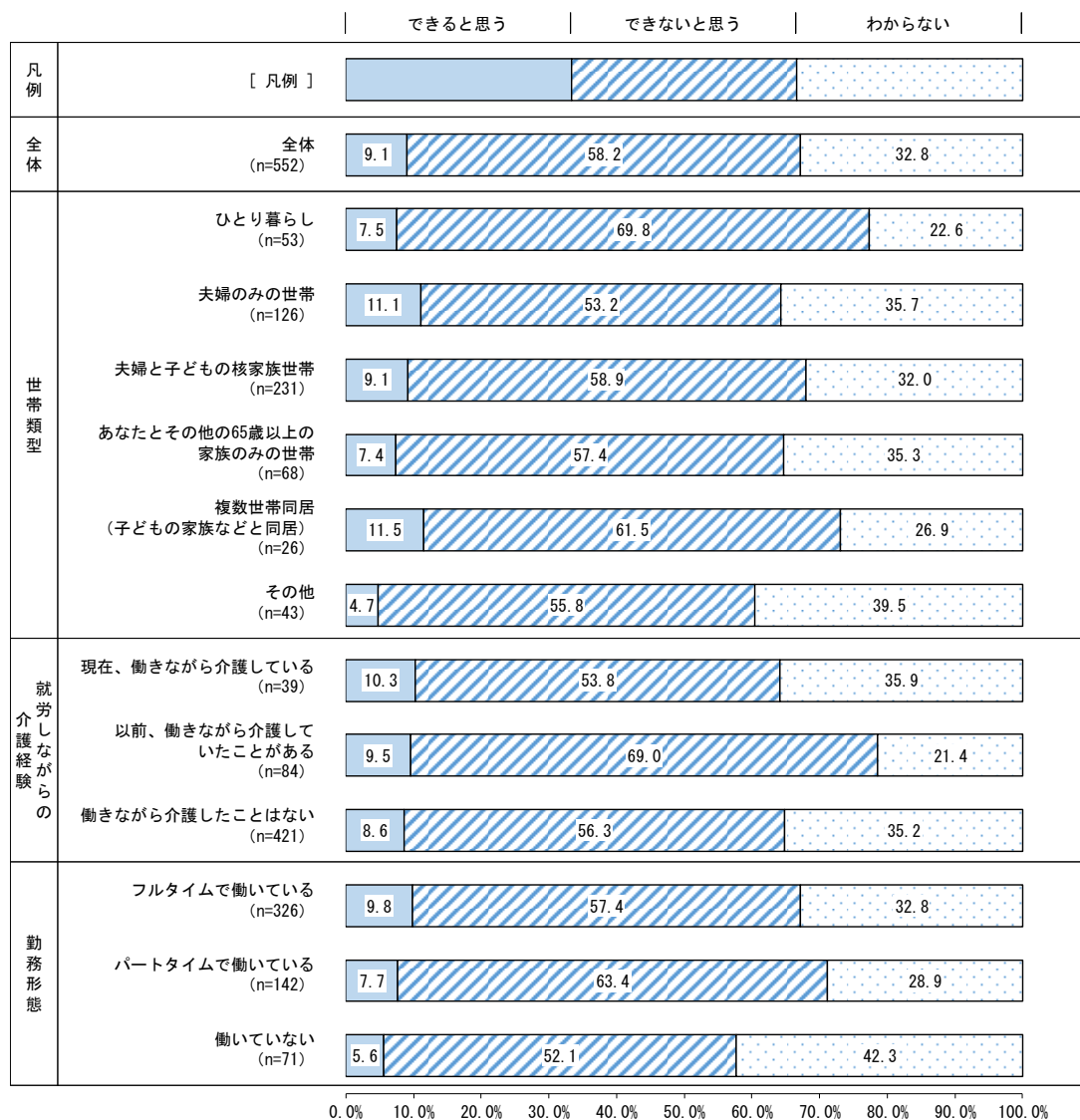
【就労しながらの介護経験】

- 「できないと思う」は以前、働きながら介護していたことがある人が 69.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 「できないと思う」はパートタイムで働いている人が 63.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【自宅で療養しながら最後まで過ごすことができると思うか】



- 問8 (5) - ① [問8 (5) で「2. できないと思う」を選んだ人のみ] 自宅で最期まで療養することができないと思う理由をお答えください。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 自宅で療養しながら最後まで過ごすのが難しいと思う理由について、「介護してくれる家族に負担がかかりすぎる」が 73.5%で最も多く、次いで「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である」が 53.9%、「経済的に負担が大きい」が 40.2%となっています。

【圏域】

- 「訪問診療（医師の訪問）体制が整っていない」「訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていない」「訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていない」は北ブロックが他の圏域に比べて多くなっています。

【世帯類型】

- 「介護してくれる家族がいない」はひとり暮らしが 59.5%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「経済的に負担が大きい」はひとり暮らしが 51.4%、あなたとその他の 65 歳以上の家族のみの世帯が 59.0%と、他の区分が 3 割～4 割程度であるのに対し多くなっています。

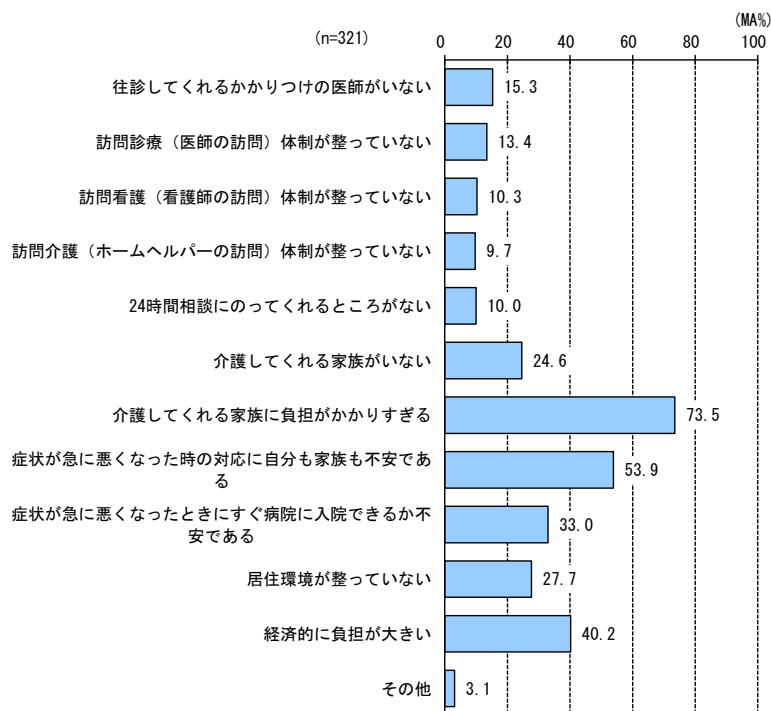
【就労しながらの介護経験】

- 「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である」は現在、働きながら介護している人が 66.7%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「経済的に負担が大きい」は働きながら介護したことはない人が 43.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 「訪問診療（医師の訪問）体制が整っていない」はフルタイムで働いている人が 15.0%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「介護してくれる家族に負担がかかりすぎる」は働いていない人が他の区分に比べて多くなっています。

【自宅で療養しながら最後まで過ごすのが難しいと思う理由(MA)】



单位：%

		母数 (n)	自宅療養しながら最後まで過ごすのが難しいと思う理由 (MA)						
			往診して いけるか	訪問診療 （医師が 整う）	訪問看護 （看護師 が整う）	ヘルパー （ホーム ヘルプ）	訪問介護 （ホーム ヘルプ）	24時間 相談に くれない	介護して くれない 家族
全体		321	15.3	13.4	10.3	9.7	10.0	24.6	
圏域	北ブロック	116	15.5	16.4	13.8	14.7	11.2	30.2	
	中ブロック	92	17.4	12.0	8.7	7.6	7.6	18.5	
	南ブロック	112	13.4	11.6	8.0	6.3	10.7	23.2	
世帯類型	ひとり暮らし	37	13.5	5.4	2.7	2.7	5.4	59.5	
	夫婦のみの世帯	67	19.4	13.4	13.4	10.4	9.0	28.4	
	夫婦と子どもの核家族世帯	136	14.7	13.2	9.6	8.1	9.6	11.8	
	あなたとその他の65歳以上の家族のみの世帯	39	12.8	17.9	12.8	7.7	10.3	41.0	
	複数世帯同居（子どもの家族など同居）	16	18.8	18.8	12.5	25.0	6.3	6.3	
	その他	24	8.3	12.5	8.3	12.5	16.7	16.7	
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	21	9.5	9.5	4.8	4.8	4.8	23.8	
	以前、働きながら介護していたことがある	58	13.8	15.5	10.3	10.3	13.8	25.9	
	働きながら介護したことはない	237	15.6	13.5	11.0	9.7	9.7	24.5	
勤務形態	フルタイムで働いている	187	17.6	15.0	12.3	11.2	9.6	27.3	
	パートタイムで働いている	90	12.2	10.0	5.6	5.6	10.0	22.2	
	働いていない	37	5.4	10.8	10.8	10.8	10.8	16.2	

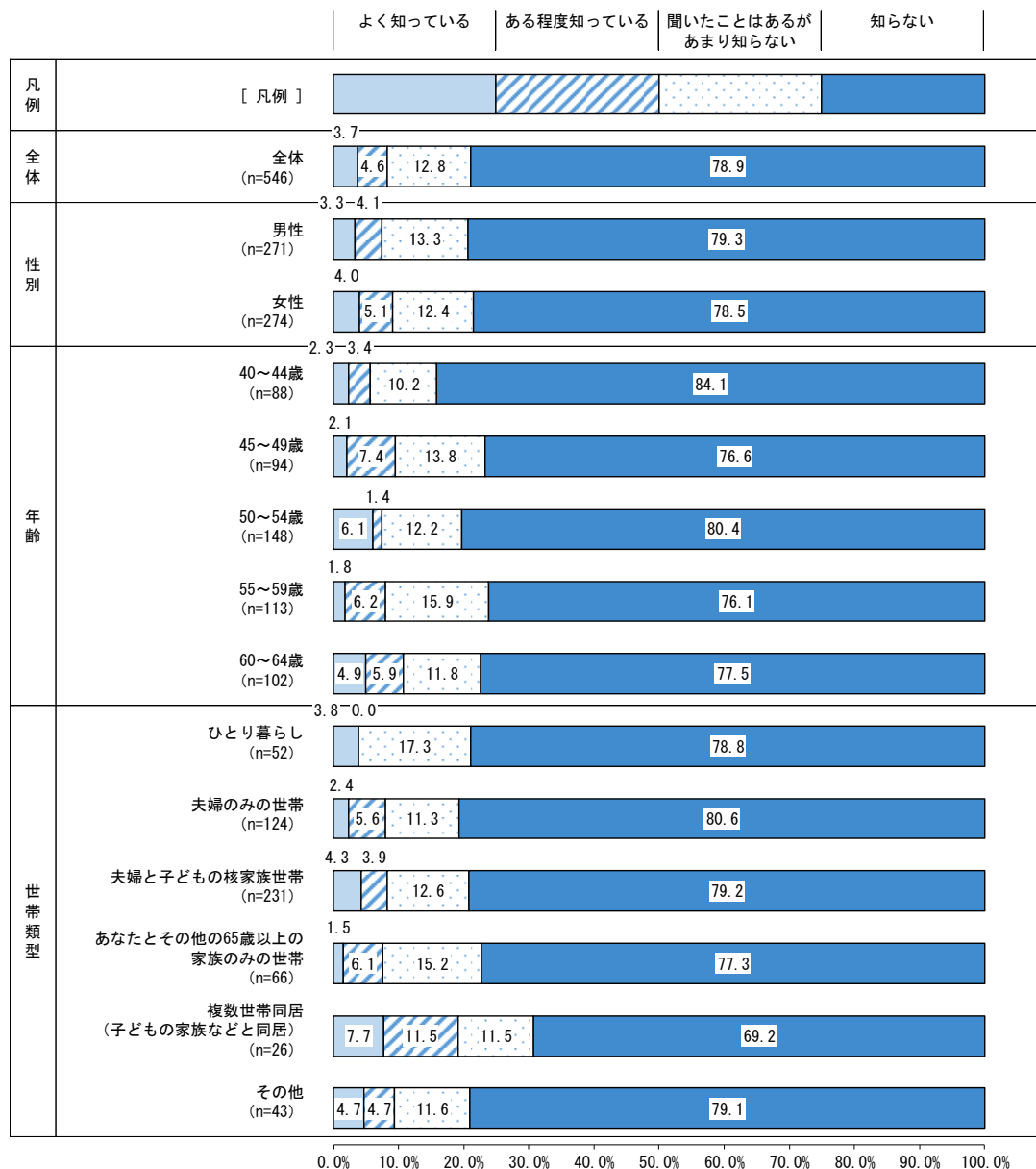
单位：%

		母数 (n)	自宅で療養しながら最後まで過ごすのが難しいと思う理由(MA)						
			家族に介護して負担がかかる 家族の負担が大きい	自分も家族の世話をする 必要がある	症状が急に悪化する	病院に入院する	症状が急に悪化する	居住環境が整っていない	経済的に負担が大きい
全体		321	73.5	53.9	33.0	27.7	40.2	3.1	
圏域	北ブロック	116	72.4	53.4	29.3	27.6	37.1	2.6	
	中ブロック	92	77.2	56.5	35.9	20.7	43.5	2.2	
	南ブロック	112	72.3	52.7	34.8	33.9	40.2	4.5	
	ひとり暮らし	37	35.1	32.4	16.2	27.0	51.4	2.7	
世帯類型	夫婦のみの世帯	67	77.6	59.7	46.3	23.9	37.3	1.5	
	夫婦と子どもの核家族世帯	136	86.0	53.7	32.4	30.9	33.1	4.4	
	あなたとその他の65歳以上の家族のみの世帯	39	53.8	46.2	28.2	28.2	59.0	2.6	
	複数世帯同居（子どもの家族などと同居）	16	68.8	75.0	43.8	12.5	37.5	6.3	
	その他	24	87.5	70.8	25.0	29.2	41.7	-	
	就労しながらの介護経験	21	76.2	66.7	23.8	23.8	33.3	-	
勤務形態	以前、働きながら介護していたことがある	58	62.1	46.6	37.9	29.3	25.9	6.9	
	働きながら介護したことはない	237	75.9	54.9	32.1	28.3	43.9	2.5	
	フルタイムで働いている	187	71.1	51.3	29.9	26.2	41.7	2.7	
	パートタイムで働いている	90	75.6	56.7	36.7	33.3	41.1	3.3	
	働いていない	37	81.1	56.8	37.8	21.6	35.1	5.4	

●問8 (6) あなたは、「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング (ACP)」のことを知っていますか。(○はひとつ)

【全体】	
○	人生会議 (ACP) の認知度について、「知らない」が 78.9%で最も多く、次いで「聞いたことはあるがあまり知らない」が 12.8%、「ある程度知っている」が 4.6%となっています。
【年齢】	
○	「知らない」は 40～44 歳が 84.1%と他の区分に比べて多くなっています。
【世帯類型】	
○	「知らない」は複数世帯同居 (子どもの家族などと同居) が 69.2%と他の区分に比べて少なくなっています。

【人生会議 (ACP) の認知度】



- 問8 (6) - ① [問8 (6) で「1. よく知っている」「2. ある程度知っている」「3. 聞いたことはあるがあまり知らない」を選んだ人のみ]「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング」の実施状況はいかがですか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 人生会議（ACP）の検討度合について、「考えていない」が 42.6%で最も多く、次いで「ひとりで考えたことがある」が 38.3%、「家族と話し合ったことがある」が 22.6%となっています。

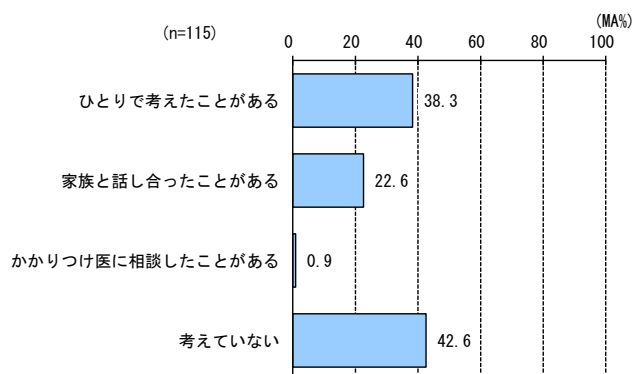
【年齢】

- 「家族と話し合ったことがある」は40～44歳が28.6%と他の区分に比べて多くなっています。一方で、「考えていない」も40～44歳が57.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯類型】

- 「考えていない」はひとり暮らしが63.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【人生会議（ACP）の検討度合（MA）】



単位：%

		母数 (n)	人生会議（ACP）の検討度合（MA）			
			ひと りが あ る 考 え た	た 家 こ と が 話 あ し 合 つ	あ 相 か る 談 か し り た つ こ け と 医 が に	考 え て い な い
全体		115	38.3	22.6	0.9	42.6
性別	男性	56	35.7	21.4	1.8	44.6
	女性	59	40.7	23.7	-	40.7
年齢	40～44歳	14	14.3	28.6	-	57.1
	45～49歳	22	40.9	18.2	-	40.9
	50～54歳	29	44.8	24.1	-	41.4
	55～59歳	27	40.7	22.2	3.7	37.0
	60～64歳	23	39.1	21.7	-	43.5
世帯類型	ひとり暮らし	11	27.3	9.1	-	63.6
	夫婦のみの世帯	24	37.5	20.8	-	45.8
	夫婦と子どもの核家族世帯	48	33.3	29.2	-	43.8
	あなたとその他の65歳以上の家族のみの世帯	15	53.3	13.3	6.7	33.3
	複数世帯同居（子どもの家族などと同居）	8	50.0	25.0	-	25.0
	その他	9	44.4	22.2	-	33.3

- 問8 (6) - ② [問8 (6) - ①で「1. ひとりで考えたことがある」「2. 家族と話し合ったことがある」「3. かかりつけ医に相談したことがある」を選んだ人のみ]「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング」での内容について以下のことを行っていますか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 人生会議（ACP）での内容について行っていることについて、「特に行っていない」が 65.6%で最も多く、次いで「家族や友人にその内容を共有している」が 26.6%、「書面に残している」が 10.9%となっています。

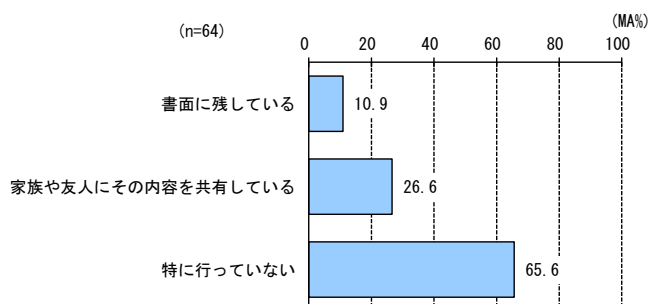
【性別】

- 「書面に残している」は男性が 16.1%と女性の 6.1%に比べて多くなっています。
○ 「特に行っていない」は女性が 69.7%と男性の 61.3%に比べて多くなっています。

【年齢】

- 「特に行っていない」は 50～54 歳が 56.3%、55～59 歳が 58.8%と、他の区分が 7 割～8 割程度であるのに対し少なくなっています。

【人生会議（ACP）での内容について行っていること (MA)】



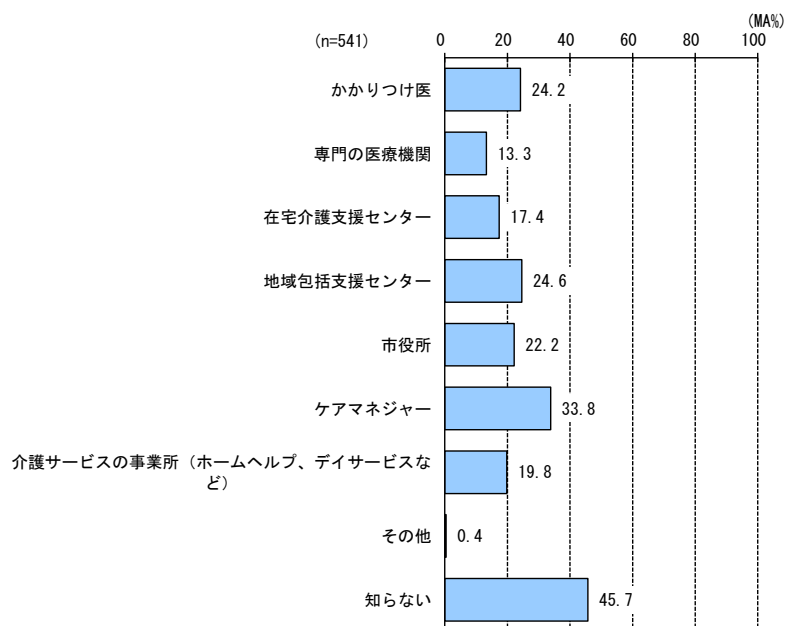
単位：%

		母数 (n)	人生会議（ACP）での内容について行っていること（MA）		
			る書 面 に 残 し て い	ての家 い内 族の 容や を友 共 有に しそ	い特 に行 つ て い な
全体		64	10.9	26.6	65.6
性別	男性	31	16.1	25.8	61.3
	女性	33	6.1	27.3	69.7
年齢	40～44歳	5	-	20.0	80.0
	45～49歳	13	7.7	23.1	69.2
	50～54歳	16	25.0	25.0	56.3
	55～59歳	17	11.8	35.3	58.8
	60～64歳	13	-	23.1	76.9
世帯類型	ひとり暮らし	4	-	-	100.0
	夫婦のみの世帯	12	8.3	33.3	66.7
	夫婦と子どもの核家族世帯	26	7.7	34.6	57.7
	あなたとその他の65歳以上の家族のみの世帯	10	10.0	10.0	90.0
	複数世帯同居（子どもの家族などと同居）	6	16.7	16.7	66.7
	その他	6	33.3	33.3	33.3

- 問8 (7) 訪問診療や看取りのことなど、在宅医療に関する以下の相談窓口をご存じですか。
(当てはまるものすべてに○)

【全体】	
○	在宅医療に関する相談窓口で知っているものについて、「知らない」が45.7%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が33.8%、「地域包括支援センター」が24.6%となっています。
【年齢】	
○	年齢が高いほど「知らない」が少なくなる傾向がみられます。
【圏域】	
○	「在宅介護支援センター」は北ブロックが16.2%と他の圏域に比べて少なくなっています。
○	「地域包括支援センター」は中ブロックが27.0%と他の圏域に比べて多くなっています。
○	「市役所」は北ブロックが24.9%と他の圏域に比べて多くなっています。
○	「知らない」は中ブロックが50.3%と他の圏域に比べて多くなっています。

【在宅医療に関する相談窓口で知っているもの(MA)】



単位：%

		母数 (n)	在宅医療に関する相談窓口で知っているもの(MA)								その他	知らない
			かかりつけ医	専門の医療機関	在宅介護支援センター	地域包括支援センター	市役所	ケアマネジャー	ヘルプ事業所（ホームサービスなど）	介護サビスの		
全体		541	24.2	13.3	17.4	24.6	22.2	33.8	19.8	0.4	45.7	
性別	男性	272	25.0	12.1	15.4	23.5	21.0	31.3	18.4	0.4	44.9	
	女性	268	23.5	14.6	19.4	25.7	23.5	36.2	21.3	0.4	46.6	
年齢	40～44歳	88	12.5	11.4	14.8	22.7	22.7	27.3	17.0	-	52.3	
	45～49歳	95	24.2	10.5	16.8	18.9	23.2	32.6	26.3	1.1	48.4	
	50～54歳	149	24.8	14.8	14.1	20.8	19.5	33.6	19.5	-	47.7	
	55～59歳	110	27.3	16.4	22.7	31.8	21.8	35.5	18.2	0.9	40.9	
	60～64歳	98	30.6	12.2	19.4	29.6	25.5	38.8	18.4	-	39.8	
圏域	北ブロック	185	22.7	13.5	16.2	23.8	24.9	33.0	18.9	-	43.2	
	中ブロック	163	25.8	15.3	17.8	27.0	19.6	31.9	18.4	-	50.3	
	南ブロック	192	24.5	11.5	18.2	23.4	21.9	35.9	21.9	1.0	44.3	
世帯類型	ひとり暮らし	52	13.5	13.5	17.3	23.1	15.4	26.9	13.5	3.8	50.0	
	夫婦のみの世帯	126	27.0	17.5	15.1	28.6	23.0	37.3	21.4	-	38.1	
	夫婦と子どもの核家族世帯	226	22.1	11.5	16.4	22.1	21.2	32.3	17.3	-	50.9	
	あなたとその他の65歳以上の家族のみの世帯	65	21.5	12.3	23.1	24.6	21.5	33.8	24.6	-	47.7	
	複数世帯同居（子どもの家族など同居）	25	44.0	20.0	28.0	28.0	40.0	44.0	36.0	-	24.0	
	その他	42	33.3	4.8	16.7	28.6	19.0	33.3	16.7	-	45.2	

(9) これからの高齢者介護について

- 問9 (1) あなたは、将来、もし介護が必要になった時、どのように介護してほしいとお考えですか。(〇はひとつ)

【全体】

- 介護が必要になった時の希望について、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい」が 38.1%で最も多く、次いで「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が 32.8%、「わからない」が 27.1%となっています。

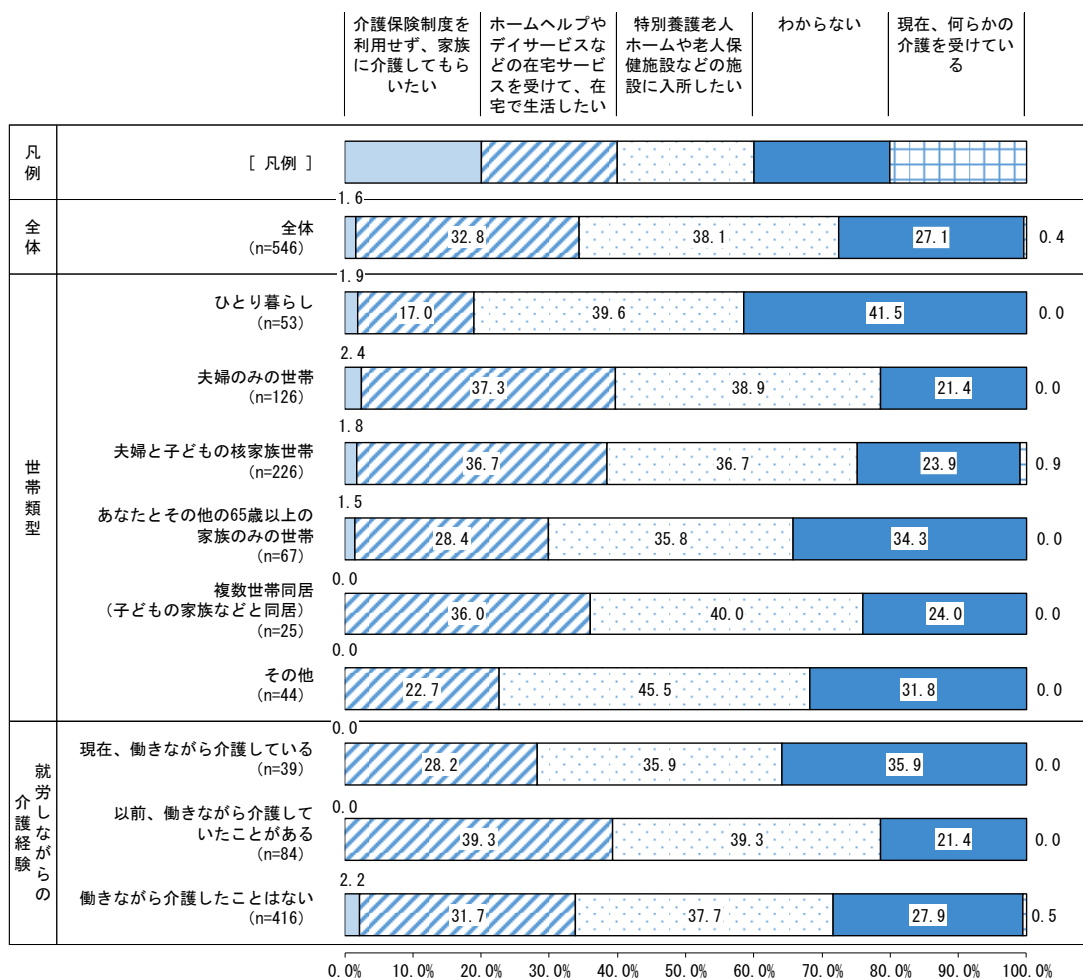
【世帯類型】

- 「わからない」はひとり暮らしが 41.5%、あなたとその他の 65 歳以上の家族のみの世帯が 34.3%、その他が 31.8%と、他の区分が 2 割程度であるのに対し多くなっています。

【就労しながらの介護経験】

- 「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」は以前、働きながら介護していたことがある人が 39.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「わからない」は現在、働きながら介護している人が 35.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護が必要になった時の希望】

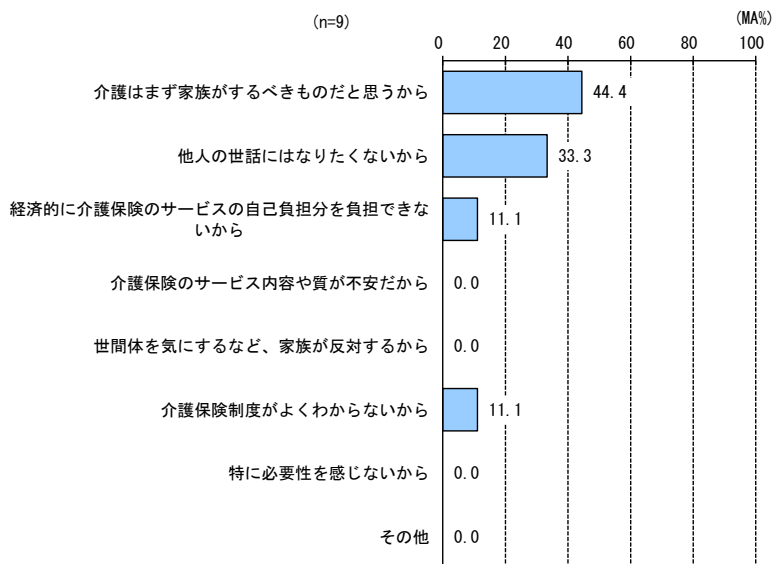


- 問9 (1) - ① [問9 (1) で「1. 介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい」を選んだ人のみ] その理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい理由について、「介護はまず家族がすべきものだと思うから」が 44.4%で最も多く、次いで「他人の世話にはなりたくないから」が 33.3%、「経済的に介護保険のサービスの自己負担分を負担できないから」「介護保険制度がよくわからないから」が 11.1%となっています。

【介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい理由(MA)】



単位：%

単位：％

		母数 (n)	介護保険制度を利用せず、家族に介護してもらいたい理由(MA)									
			だが介護は と思うべき から家族 の	らな他人の り人の世話 たくな話 にには	担自己負担 でできない 担分を	険経済的サ ーに介護保 険の	不安だから 介護保険の 内容や質が	反対するな ど、家族が	世間体を 気にす	かよくわ からない 介護保険 制度が	じない必 要性を感 ずる	その他
全体		9	44.4	33.3	11.1	-	-	11.1	-	-	-	
世帯類型	ひとり暮らし	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	夫婦のみの世帯	3	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	
	夫婦と子どもの核家族世帯	4	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	
	あなたとその他の65歳以上の家族のみの世帯	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	
	複数世帯同居（子どもの家族など同居）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	以前、働きながら介護していたことがある	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	働きながら介護したことはない	9	44.4	33.3	11.1	-	-	11.1	-	-	-	

- 問9 (2) 高齢者への介護体制の充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。(〇は3つまで)

【全体】

- 高齢者への介護体制充実のために行政に希望する内容について、「介護サービスの充実」が52.1%で最も多く、次いで「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」「在宅介護支援センター・地域包括支援センターでの相談・支援体制の充実」が34.0%、「介護サービス以外の日常生活への支援の充実」が27.9%となっています。

【性別】

- 「介護サービス以外の日常生活への支援の充実」は男性が30.5%と女性の25.3%に比べて多くなっています。

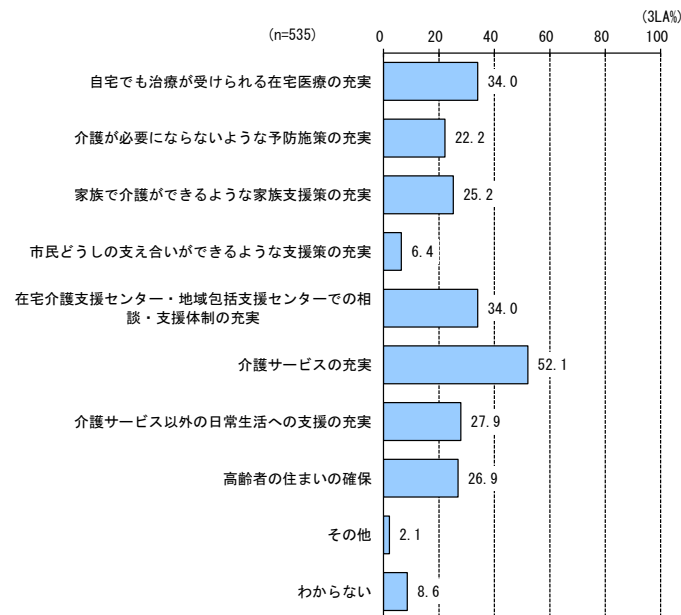
【圏域】

- 「在宅介護支援センター・地域包括支援センターでの相談・支援体制の充実」は南ブロックが42.6%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「高齢者の住まいの確保」は北ブロックが29.2%と他の圏域に比べて多くなっています。

【就労しながらの介護経験】

- 「介護が必要にならないような予防施策の充実」「家族で介護ができるような家族支援策の充実」は現在、働きながら介護している人が他の区分に比べて多くなっています。

【高齢者への介護体制充実のために行政に希望する内容(3LA)】



高齢者への介護体制充実のために行政に希望する内容(3LA)													単位: %			
		母数 (n)	実 ら れ る 在 宅 医 療 の 充 実	自 宅 で も 治 療 が 受 け ら れ る 在 宅 医 療 の 充 実	充 い よ う な 予 防 施 策 の 充 実	介 護 が 必 要 に な ら な い	介 護 が 必 要 に な ら な い	家 族 で 介 護 が で き る 支 援 策 の 充 実	援 い が で き る よ う な 支 え 合 い の 充 実	市 民 ど う し の 支 え 合 い の 充 実	在 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー ・ 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー で の 相 談 ・ 支 援 体 制 の 充 実	介 護 サ ー ビ ス の 充 実	充 日 常 生 活 へ の 支 援 の 充 実	高 齢 者 の 住 ま い の 確 保	そ の 他	わ か ら な い
全体		535	34.0	22.2	25.2	6.4	34.0	52.1	27.9	26.9	2.1	8.6				
性別	男性	269	32.0	21.2	23.8	7.1	32.0	50.9	30.5	28.6	1.5	9.7				
	女性	265	35.8	23.4	26.4	5.7	35.8	53.6	25.3	25.3	2.6	7.5				
年齢	40～44歳	87	23.0	14.9	19.5	12.6	29.9	54.0	29.9	32.2	2.3	13.8				
	45～49歳	94	37.2	25.5	29.8	4.3	31.9	56.4	23.4	20.2	1.1	8.5				
	50～54歳	143	34.3	26.6	26.6	6.3	23.8	49.7	32.9	25.9	2.8	7.7				
	55～59歳	109	33.0	25.7	19.3	4.6	38.5	47.7	26.6	26.6	2.8	8.3				
	60～64歳	101	40.6	15.8	29.7	5.0	48.5	55.4	24.8	30.7	1.0	5.9				
圏域	北ブロック	185	34.6	26.5	25.4	7.6	26.5	48.6	28.1	29.2	2.2	8.1				
	中ブロック	159	32.7	23.3	27.7	7.5	32.1	52.8	27.0	26.4	3.1	9.4				
	南ブロック	190	34.2	17.4	22.6	4.2	42.6	55.3	28.4	25.3	1.1	8.4				
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	39	25.6	30.8	38.5	7.7	28.2	48.7	35.9	23.1	-	10.3				
	以前、働きながら介護していたことがある	84	31.0	22.6	23.8	6.0	33.3	50.0	32.1	29.8	6.0	2.4				
	働きながら介護したことはない	406	35.2	21.2	24.1	6.4	34.7	52.7	26.1	26.8	1.5	9.9				
勤務形態	フルタイムで働いている	312	34.6	22.8	26.0	5.1	31.4	51.0	24.4	28.8	2.2	10.9				
	パートタイムで働いている	140	27.1	20.7	22.1	9.3	37.9	52.1	37.1	26.4	1.4	4.3				
	働いていない	70	45.7	25.7	28.6	7.1	37.1	52.9	25.7	20.0	2.9	7.1				

- 問9 (3) 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、地域でどのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

- 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うことについて、「ふれあいいきいきサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」が 33.4%で最も多く、次いで「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が 32.3%、「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」が 31.9%となっています。

【圏域】

- 「老人クラブなど、高齢者どうしの交流を促進する」は北ブロックが他の圏域に比べて多くなっています。
- 「近所どうしのつきあいを深める」は中ブロックが 28.7%と他の圏域に比べて多くなっています。
- 「ボランティアなどを育成して、活動してもらう」「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」は南ブロックが他の圏域に比べて多くなっています。

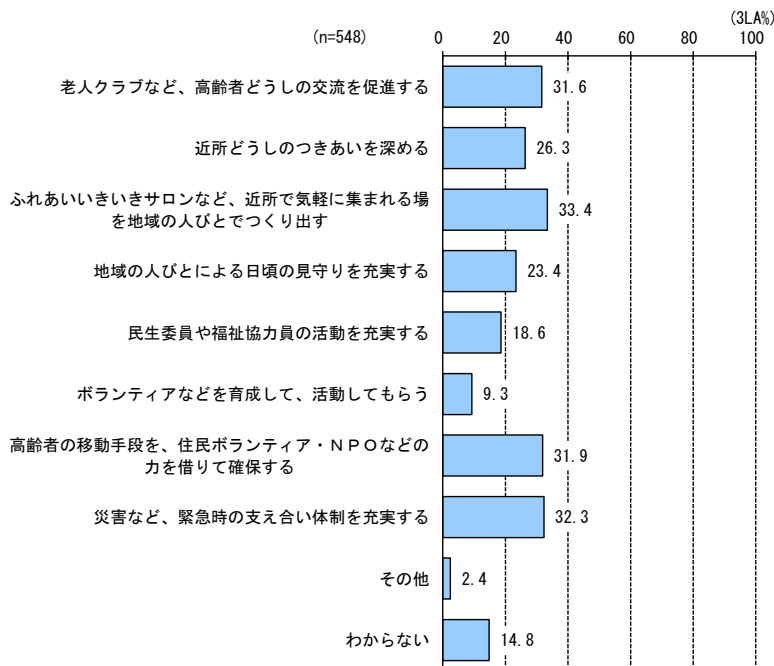
【就労しながらの介護経験】

- 「ふれあいいきいきサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」は現在、働きながら介護している人が他の区分に比べて多くなっています。
- 「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」は以前、働きながら介護していたことがある人が 36.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【勤務形態】

- 「老人クラブなど、高齢者どうしの交流を促進する」「ふれあいいきいきサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」「ボランティアなどを育成して、活動してもらう」「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」はパートタイムで働いている人が他の区分に比べて多くなっています。
- 「地域の人びとによる日頃の見守りを充実する」はフルタイムで働いている人が 25.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)】



単位：％

		母数 (n)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)									
			高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと (3LA)
全体		548	31.6	26.3	33.4	23.4	18.6	9.3	31.9	32.3	2.4	14.8
性別	男性	271	29.9	25.5	32.8	24.0	18.5	9.6	32.5	31.7	2.6	15.1
	女性	276	33.0	27.2	33.7	22.8	18.8	9.1	31.5	33.0	2.2	14.5
年齢	40～44歳	89	31.5	28.1	34.8	18.0	14.6	12.4	32.6	30.3	3.4	15.7
	45～49歳	95	27.4	28.4	36.8	18.9	12.6	11.6	31.6	36.8	1.1	18.9
	50～54歳	145	33.8	22.8	31.0	22.8	26.2	8.3	34.5	29.0	3.4	12.4
	55～59歳	113	28.3	26.5	34.5	28.3	20.4	9.7	30.1	31.9	2.7	13.3
	60～64歳	105	35.2	27.6	30.5	27.6	15.2	5.7	30.5	35.2	1.0	15.2
圏域	北ブロック	189	33.3	24.9	33.9	27.0	18.0	7.9	29.6	32.8	1.6	14.3
	中ブロック	167	29.9	28.7	33.5	24.0	18.0	7.8	28.7	32.3	3.0	18.0
	南ブロック	191	30.9	25.7	32.5	19.4	19.9	12.0	37.2	31.9	2.6	12.6
就労しながらの介護経験	現在、働きながら介護している	38	26.3	28.9	44.7	15.8	15.8	5.3	34.2	31.6	2.6	15.8
	以前、働きながら介護していたことがある	83	26.5	25.3	37.3	25.3	15.7	12.0	34.9	36.1	1.2	12.0
	働きながら介護したことはない	419	33.4	26.0	32.2	23.4	19.1	9.1	31.5	31.0	2.6	15.0
勤務形態	フルタイムで働いている	325	30.5	26.5	31.4	25.2	20.0	8.3	29.8	31.7	1.5	15.7
	パートタイムで働いている	139	39.6	28.8	41.7	20.9	13.7	12.9	36.7	28.1	3.6	7.9
	働いていない	71	25.4	21.1	29.6	16.9	16.9	8.5	31.0	39.4	4.2	23.9